



START UP GUIDE

PC版アプリケーション編

ビジネスプラン- PC版BONX WORK

PC版アプリケーション編

本ガイドは、ビジネスプラン機能のPC版BONX WORKアプリのインストールおよび操作について説明しております。

0. [はじめに](#)
1. [インストール方法](#)
2. [アンインストール方法](#)
 - 2-1. インストーラからアンインストールする方法
 - 2-2. Windowsの設定からアンインストールする方法
3. [事前設定：音声デバイスの設定方法](#)
4. [事前設定：音声合成の設定方法](#)
5. [BONX WORKアプリの開始](#)
 - 5-1. BONX WORKアプリへのログイン
 - 5-2. アプリ画面の各部名称
6. [トークルーム作成・招待・参加](#)
 - 6-1. トークルームの作成
 - 6-2. トークルームの招待
 - 6-3. トークルームの参加
 - 6-4. トークルームの入退室
 - 6-5. よく使うルームとルーム検索
 - 6-6. ルームの表示形式と並び替え
7. [トーク方法・通話の設定](#)
 - 7-1. トーク方法
 - 7-2. 通話のカスタマイズートーク設定
8. [プライベートトークの使い方](#)
9. [録音機能について](#)
10. [文字起こし機能について](#)
 - 10-1. 文字起こし機能・Speech to Textとは
 - 10-2. アプリ操作
11. [ユニットトーク機能について](#)
 - 11-1. 使い方ーマイクアイコンのON/OFF
 - 11-2. 使い方ー音量調節アイコン
12. [チャット機能について](#)
 - 12-1. 遷移方法
 - 12-2. 使い方ー送信方法
 - 12-3. 使い方ー定型文
 - 12-4. 使い方ー編集・削除・コピー
13. [ライブ配信機能について](#)
 - 13-1. 概要・注意事項
 - 13-2. ライブ配信参加方法
 - 13-3. 過去配信の閲覧
14. [テナントまたぎ機能について](#)
 - 14-1. 概要・注意事項
 - 14-2. ホスト・ゲストについて
 - 14-3. 操作可能範囲の違い
 - 14-4. アプリ操作

詳細のお問い合わせやご契約については、
担当営業もしくはBONXまでお問い合わせください。
BONX : b4b_info@bonx.jp

① はじめに

BONX WORKをご利用いただきありがとうございます。
本ガイドでは、BONX WORKのビジネスプラン、オプション契約をされているお客様向けにPC版アプリケーションの操作方を説明しております。
テナント作成、管理画面の操作方については、管理者向けのStart Up GuideのSet Up編をご覧ください。
iOS、Android版アプリケーションの操作方についてはStart Up GuideのTalk編、BusinessPlan編をご覧ください。

推奨環境

- PC版BONX WORKをご利用いただくには以下の動作環境が必要です。

OS	Microsoft Windows 10 バージョン21H2以降 Microsoft Windows 11 バージョン22H2以降
CPU	Intel 64bit (x86_64)
メモリー	4GB以上
ストレージ	インストール時に10GB以上の空き容量が必要
ネットワーク	インターネットに接続が可能であること
サウンド・録音	再生および録音が可能であること

PC版BONX WORKアプリご利用上の注意

- 共用アカウントをご利用の場合、パスコードでのログインのみが可能です。QRコードでのログインはできません
- 発話時は、BONX純正イヤフォンのメインボタンや有線イヤフォンのコントロールボタンでの発話は行えません。発話操作はアプリ上のマイク操作ボタンの操作になります
- ライブ配信機能は参加・閲覧のみが可能です（配信側の操作は不可）

ヘルプセンター・お問い合わせ先

WEBヘルプセンターでは、各項目別の操作方法、トラブルシューティングについても随時更新しております。

ご不明点は弊社サポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。



[ヘルプセンター](#)

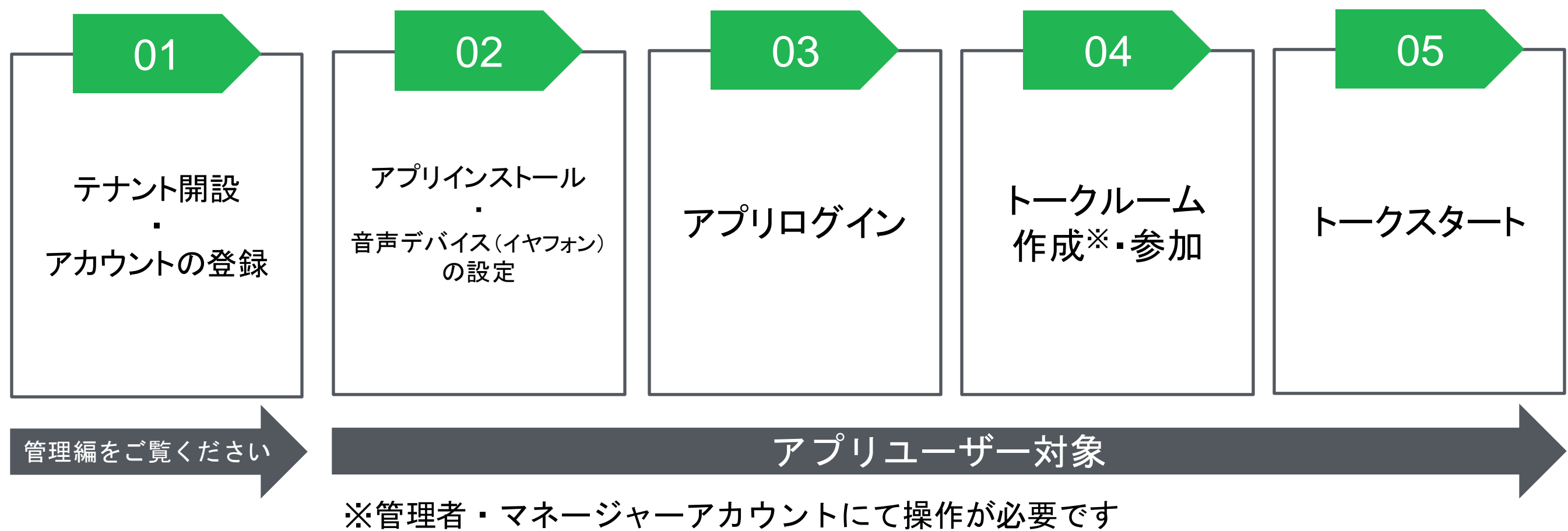


[お問い合わせ](#)

① はじめに

利用開始までの5ステップ

本ガイドでは02以降の内容を説明しております。
まだ、テナント開設後にアカウントの登録がお済みでないお客様は、Start Up Guide Set Up 編をご覧ください、アカウントの登録から行なってください。



よくある質問

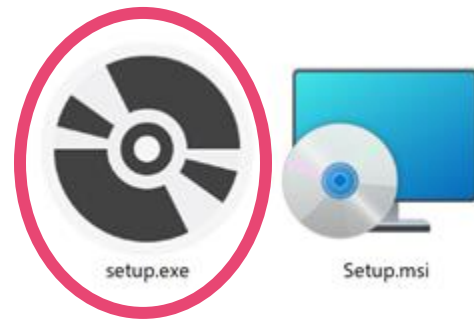
- Q1 アプリのログインは毎回必要ですか？
A1 ユーザーアカウントは初回ログイン後、ログアウトをしない限りログイン状態が続きます。共用アカウントは、運用方法によりますが、原則毎回ログインが必要です。
- Q2 管理者のアカウントもアプリのダウンロードとログインは必要ですか
A2 アプリを利用しなければ必要ないですが、
管理者アカウントも1アカウントとしてカウントされております。
また、管理者アカウントのメールアドレスの変更を行う操作・
トークルーム招待の「メンバーリスト招待」操作はアプリ上からしかできません
- Q3 トークルームは毎日作成・招待・参加する必要がありますか
A3 毎日作成・招待の必要はございません。
参加についても、該当ルームに参加済みのアカウントは、
次回よりそのルームをタップして接続するのみで通話が行えます。
※新しいトークルームを作るとき、該当ルームに新しい人を招待するときは操作が必要です

① インストール方法

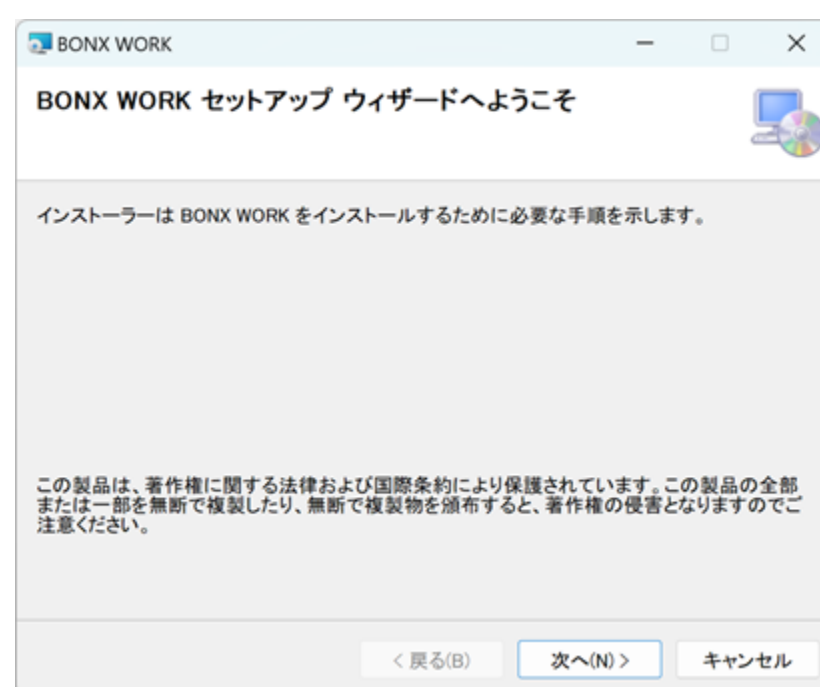
インストーラー取得元の情報は、BONX担当者より個別でご案内いたします。
インストーラーのダウンロード方法については、別途BONX担当者にご確認ください。

① 以下の2つのファイルが保存されていることを確認します

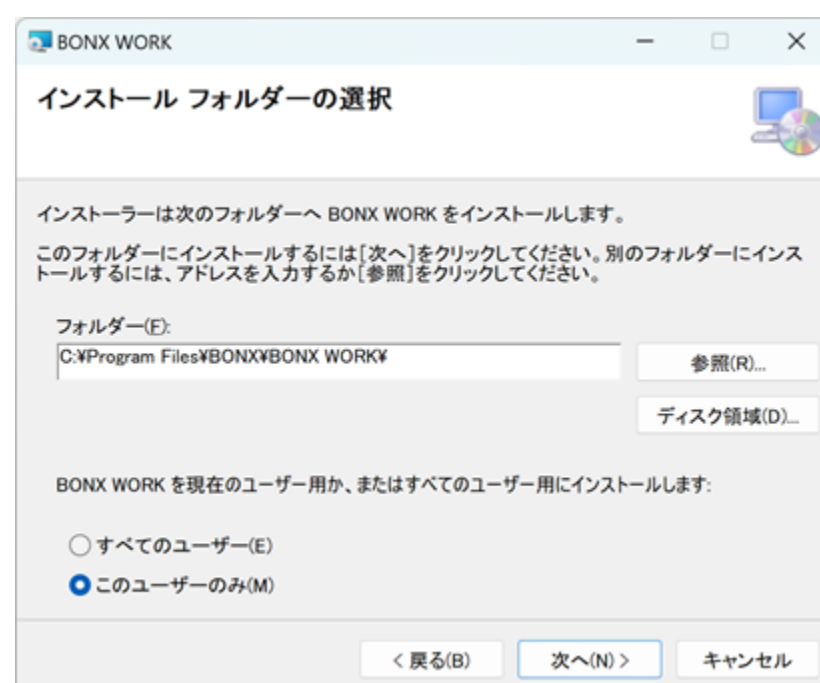
- ・ setup.exe
- ・ Setup.msi



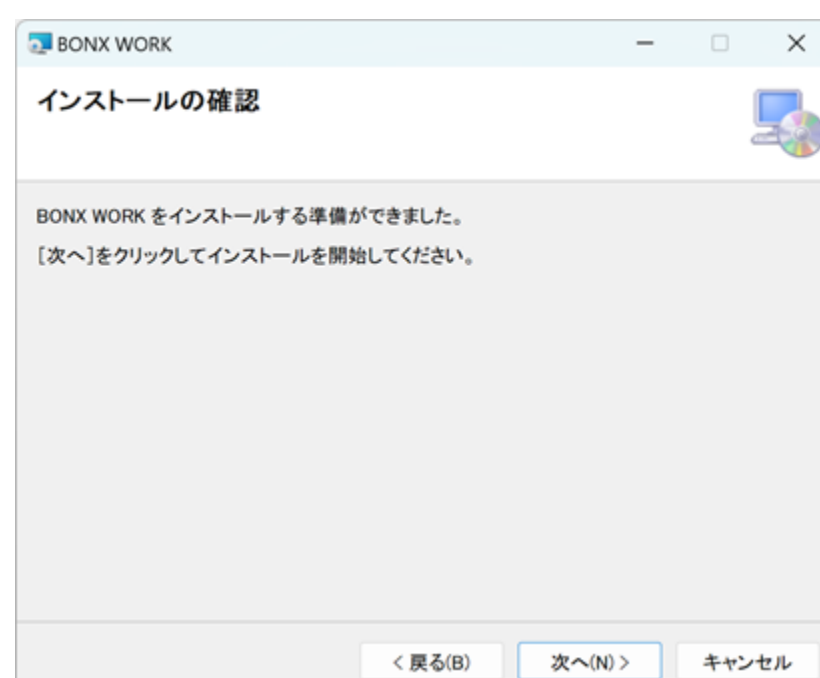
② setup.exeを実行してください。実行すると、次の画面が表示されます



③ 「次へ(N)>」をクリックします。
インストール先を特定のフォルダに変更が必要な場合は指定してからクリックをしてください



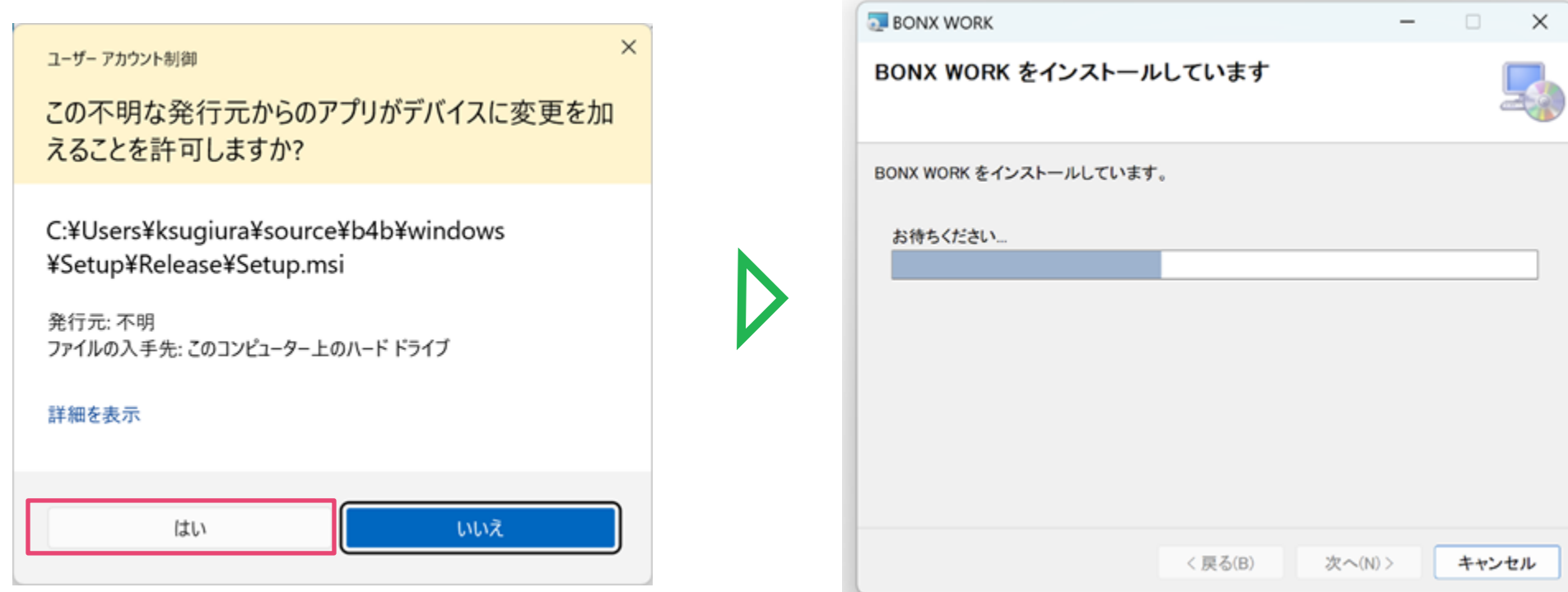
④ 「次へ(N)」ボタンをクリックします。



① インストール方法

5 以下のいずれかの画面が表示された場合は、各手順に沿って進めてください。

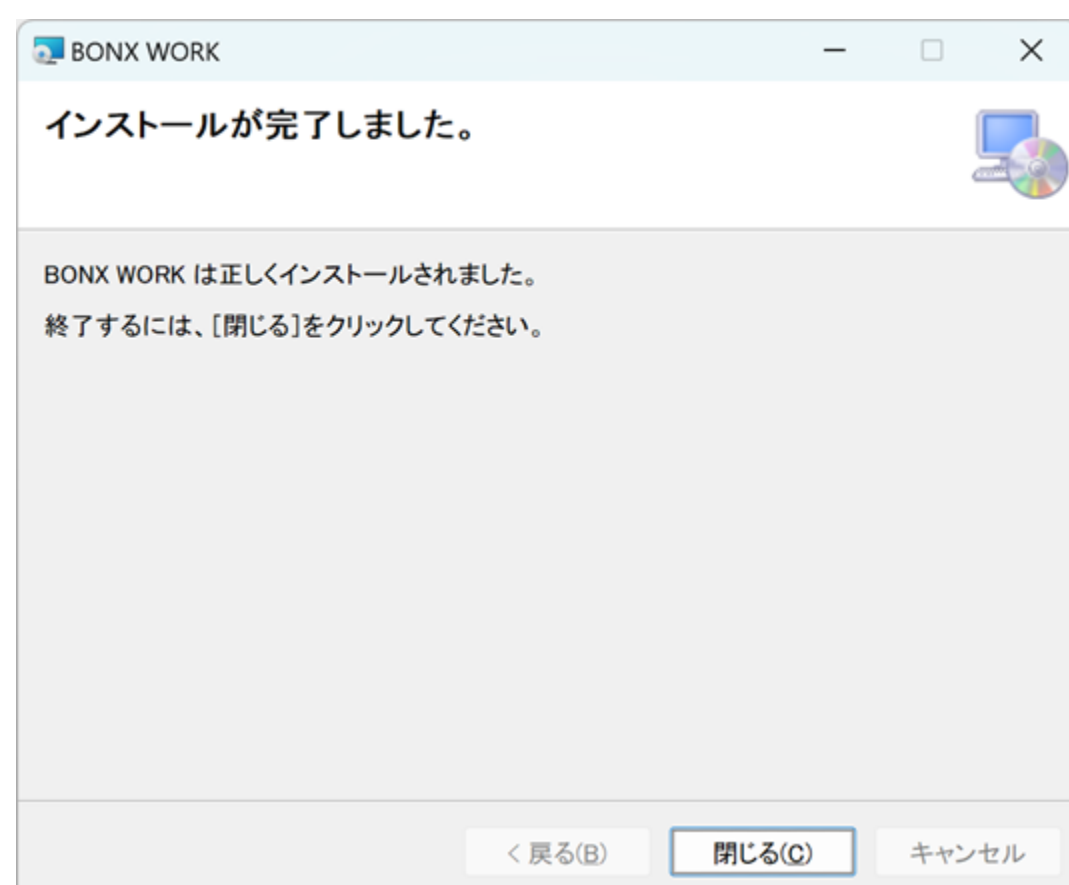
5-1. 「はい」を選択してください。
BONX WORKアプリのインストールが始まります。



5-2 「詳細情報」をクリックしてください。「実行」ボタンを選択します。
※画面上のアプリの欄には「BONX_WORK.exe」が表示されます
BONX WORKアプリのインストールが始まります。



6 インストールが完了すると、下の画面が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックして、インストールを終了します。
アプリの立ち上げ後のログイン方法については、BONX WORKアプリの開始をご覧ください。

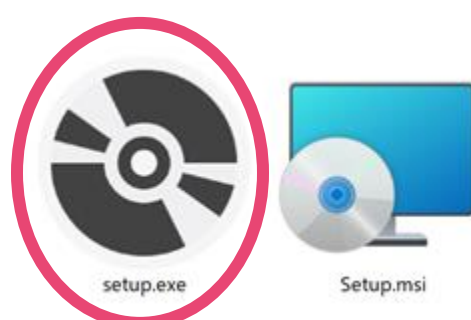


② アンインストール方法

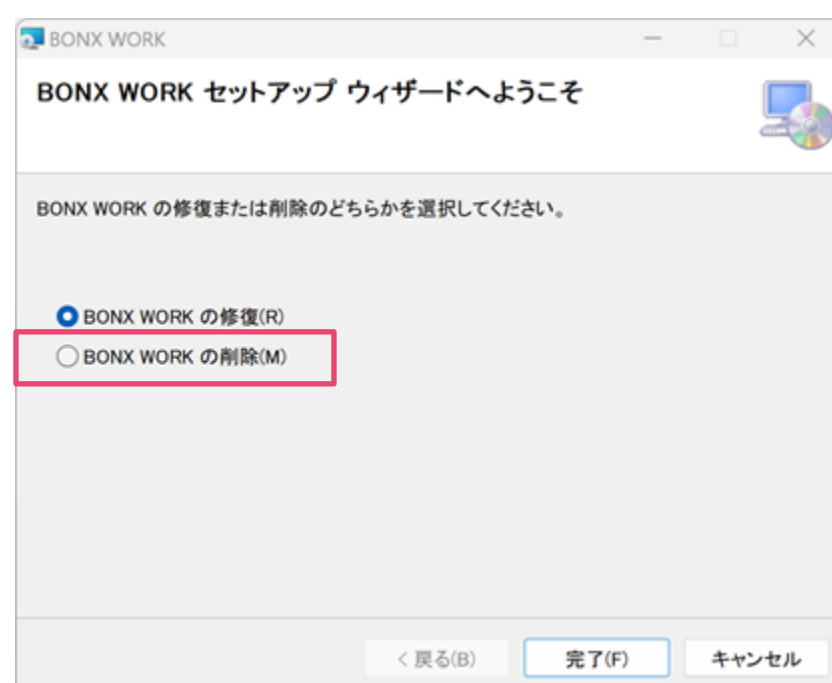
- ・ アンインストールするには、以下の2つの方法がございます。
 1. インストーラを使用する方法
 2. Windowsの設定からアンインストールする方法
- ・ アンインストール実施前には、必ずBONX WORKアプリを終了させてください。
終了させてない場合、正常にアンインストール作業が行えません。

2-1. インストーラからアンインストールする方法

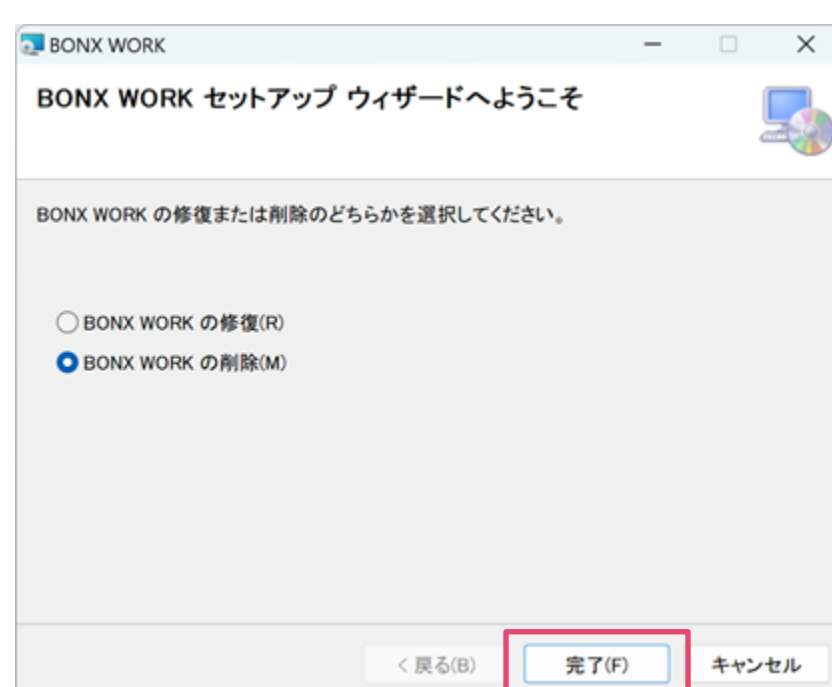
- 1 BONX WORKアプリ Windows版をインストールするときに使ったsetup.exeを実行します。



- 2 BONX WORKアプリがインストールされた状態で実行すると、次の画面が表示されます。
「BONX WORKの削除(M)を選択します。」

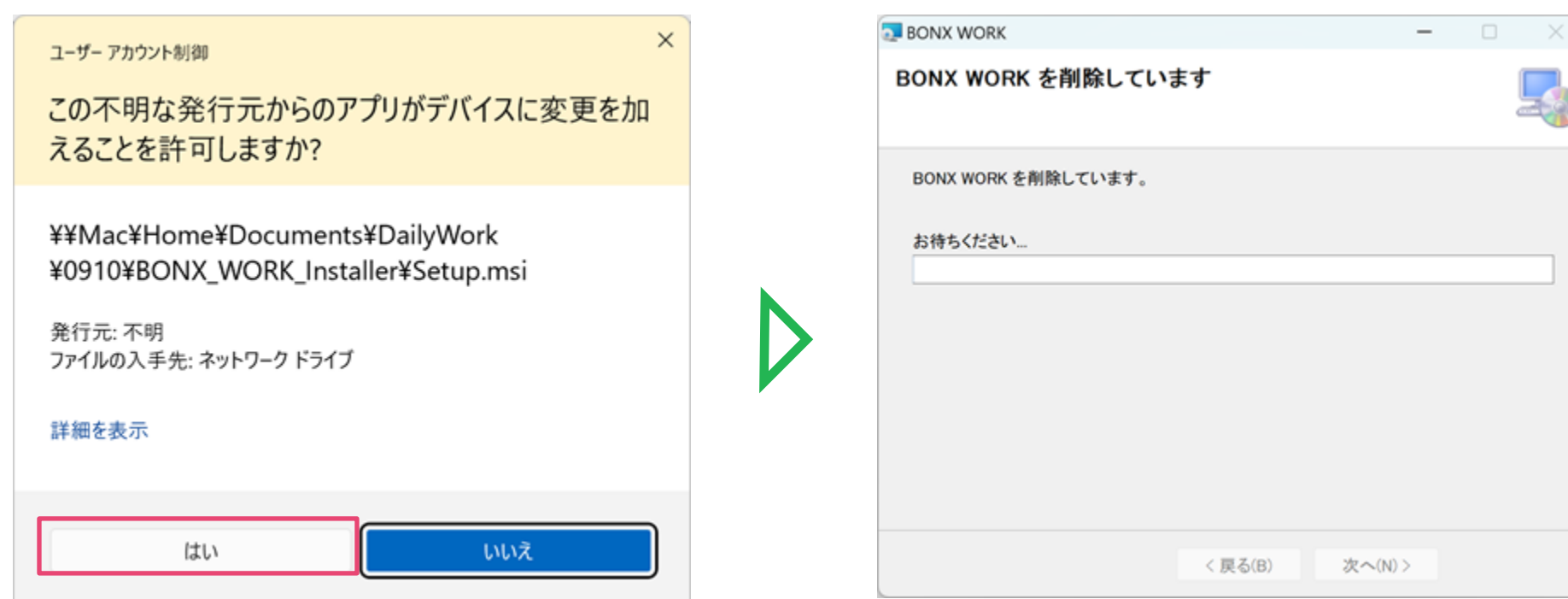


- 3 「完了(F)」 ボタンをクリックします。



② アンインストール方法

- 4 アンインストールを続行するためには、「はい」を選択してください。
PC版アプリのアンインストールが始まります。



- 5 アンインストールが完了すると、次の画面が表示されます。
「閉じる」ボタンをクリックして、アンインストールを終了します。
PC版アプリのアンインストールは完了です。



② アンインストール方法

2-2. Windowsの設定からアンインストールする方法

- ① スタートメニューから「設定」を選択し、左側のメニューから「アプリ」を選択します。



- ② 「インストールされているアプリ」を選択します。

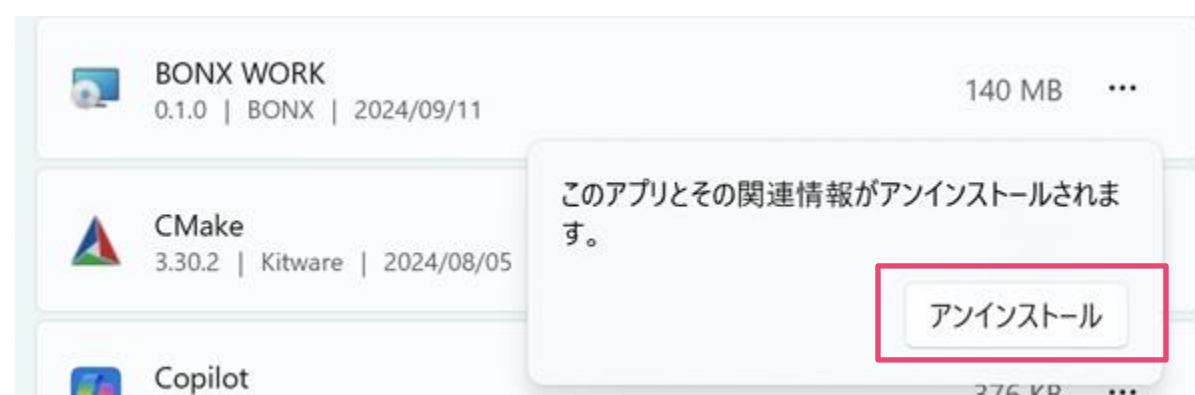


- ③ アプリの一覧から「BONX WORK」を探し、右端の「...」をクリックします。表示されたメニューから「アンインストール」を選択します。

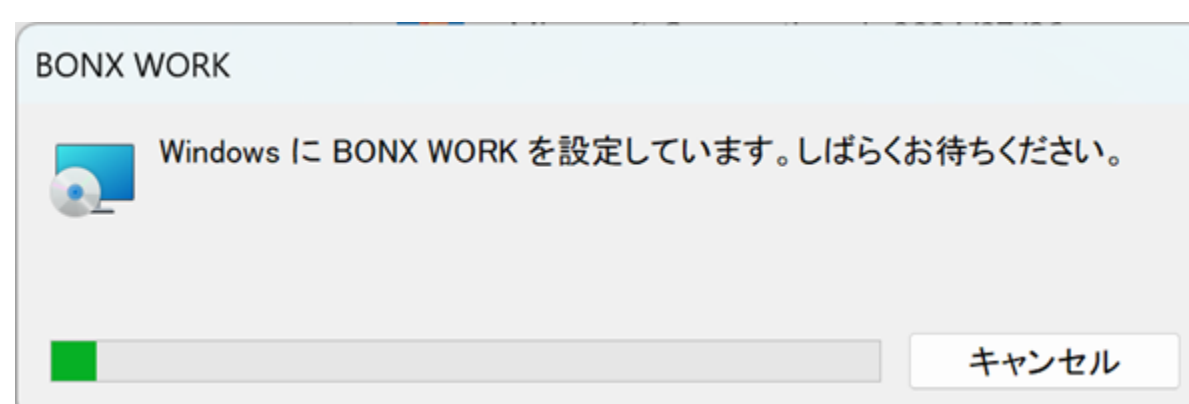
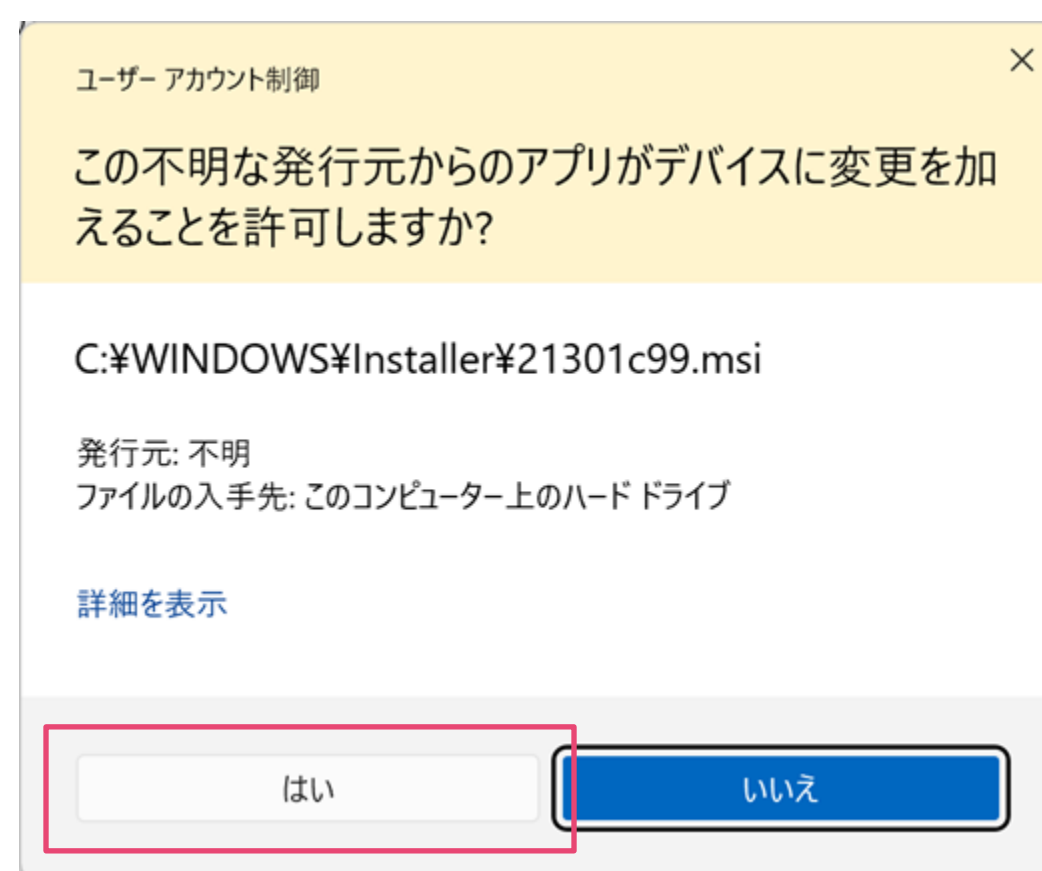


② アンインストール方法

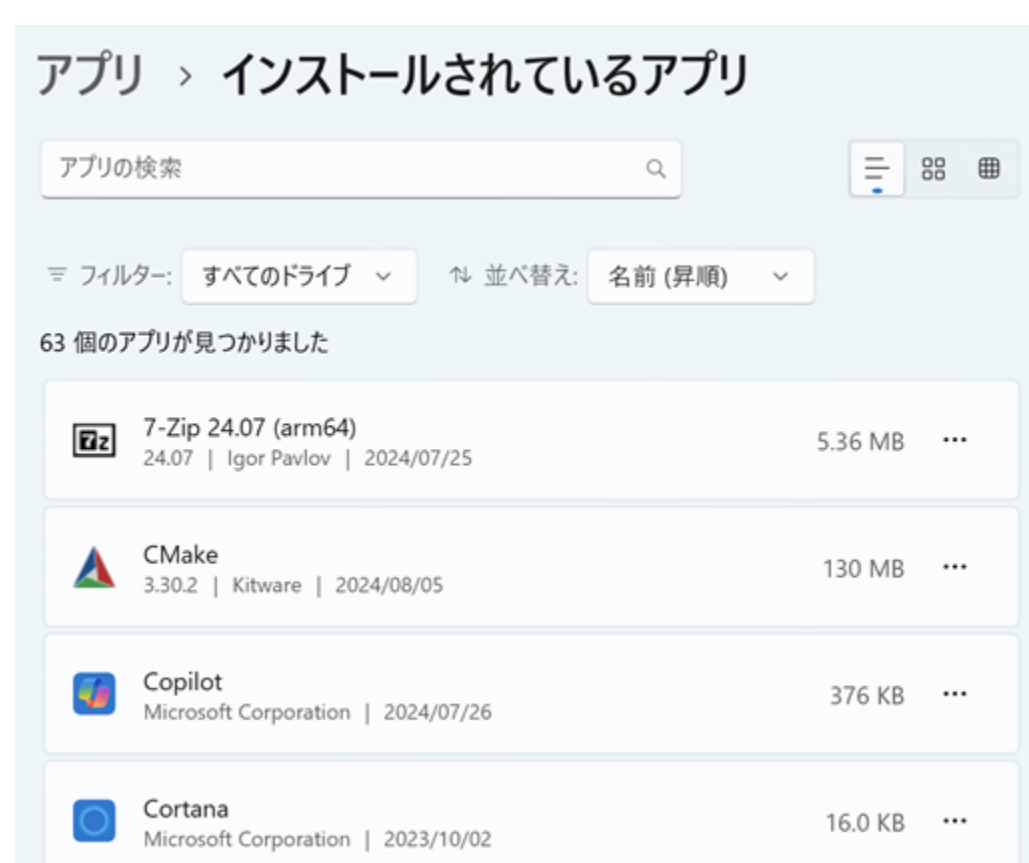
- 5 確認メッセージが表示されたら「アンインストール」選択します。



- 6 アンインストールを続行するためには、「はい」を選択してください。
BONX WORKアプリ Windows版のアンインストールが始まります。



- 7 アンインストールが完了すると、アプリの一覧から「BONX WORK」が削除されます。
PC版アプリのアンインストールは完了です。



③ 音声デバイスの設定方法

- BONX WORKアプリで発話・受話を行う際に使用する音声デバイス（イヤフォン等）を設定します。Windowsの設定から操作します。
- USBオーディオデバイスを使用している場合、複数の音声デバイスが存在する場合は、以下の手順で使用する音声デバイスを選択してください。
- **音声デバイス変更の作業時は、BONX WORKアプリを起動していない状態で行ってください**
- **BONX純正イヤフォンの組み立て等はヘルプセンターもしくはStart Up Guide Talk編をご覧ください**

- 1 スタートメニューから「設定」> 左側のメニューから「システム」を選択します。「システム」を選択し、「サウンド」を選択します



- 2 「出力」に表示されているデバイスから、通話相手の声を再生するデバイスを選択してください



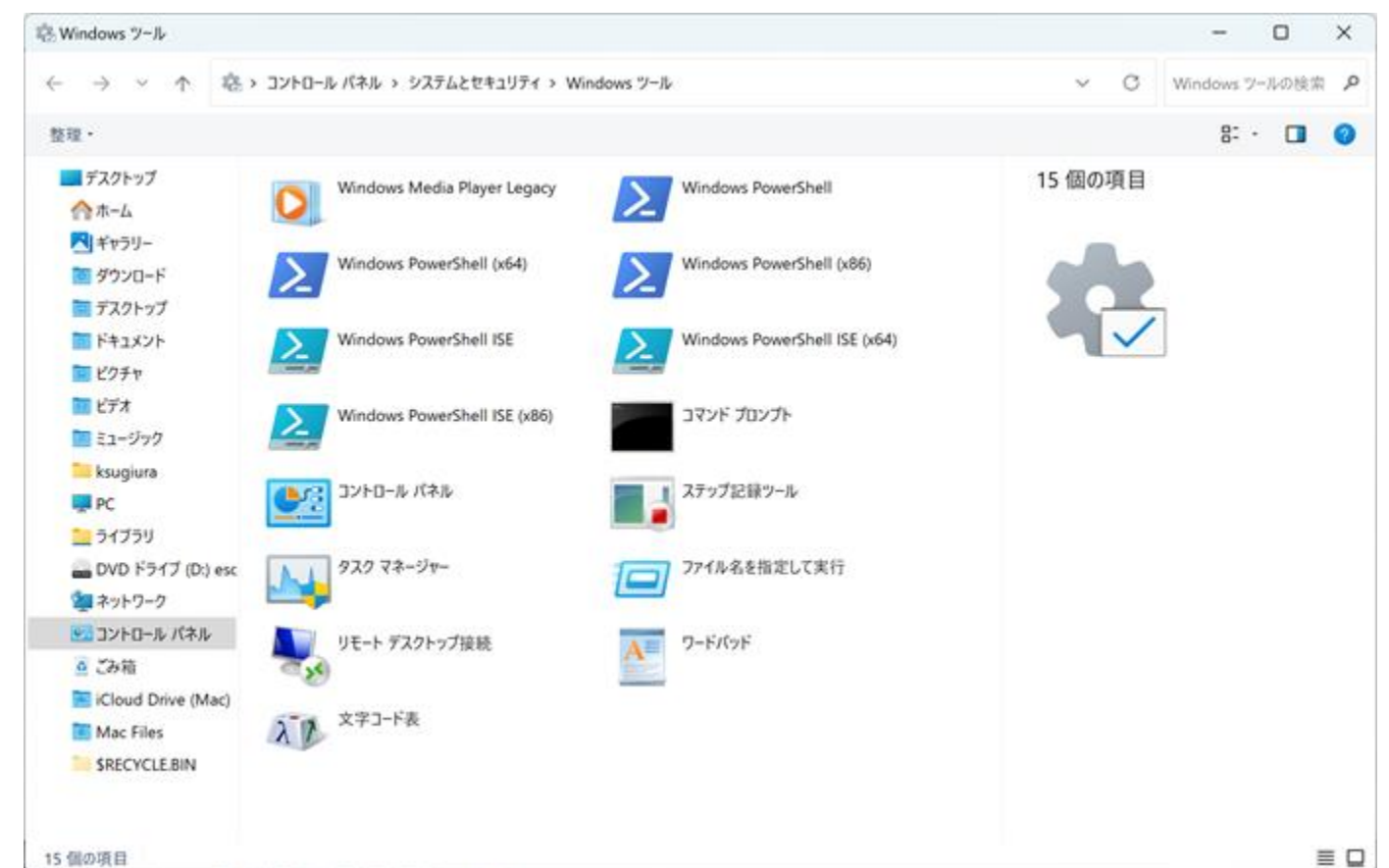
- 3 「入力」に表示されているデバイスから、自分の声を録音するデバイスを選択してください



④ 音声合成の設定方法

- BONX WORKアプリ内で流れる通知音は、Windowsの設定で選択されている音声合成が日本語以外の場合、うまく流れないことがございます。複数の音声合成ファイルがインストールされている環境では、以下の手順で「音声」を選択することができます。
- 「音声」変更の作業時は、**BONX WORKを終了した状態で行ってください。**

- ① スタートメニューから「すべてのアプリ」>「Windowsツール」を開きます。「コントロールパネル」を選択します。



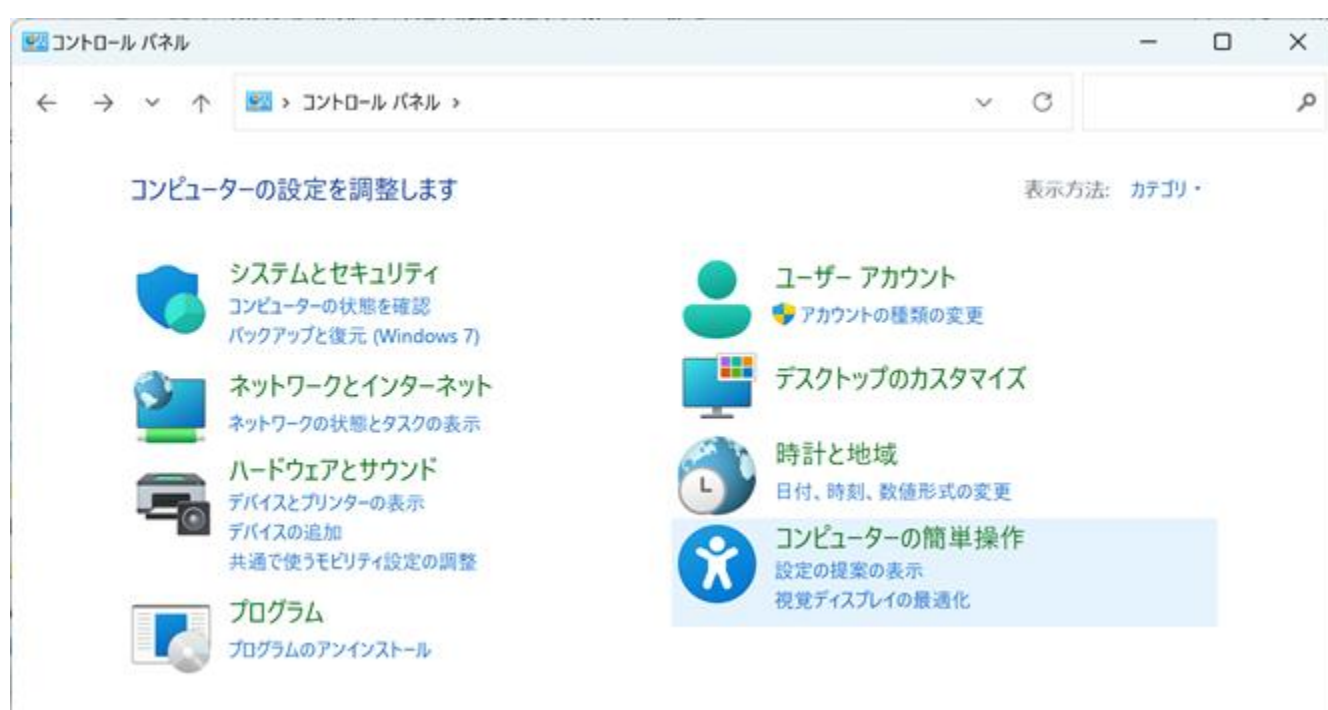
- ② 「音声認識」を選択します

(以下はコントロールパネルがアイコン表示されている画面)



(以下はコントロールパネルが・・・の画面)

「コンピューターの簡単操作」を選択し、その次に「音声認識」を選択します。

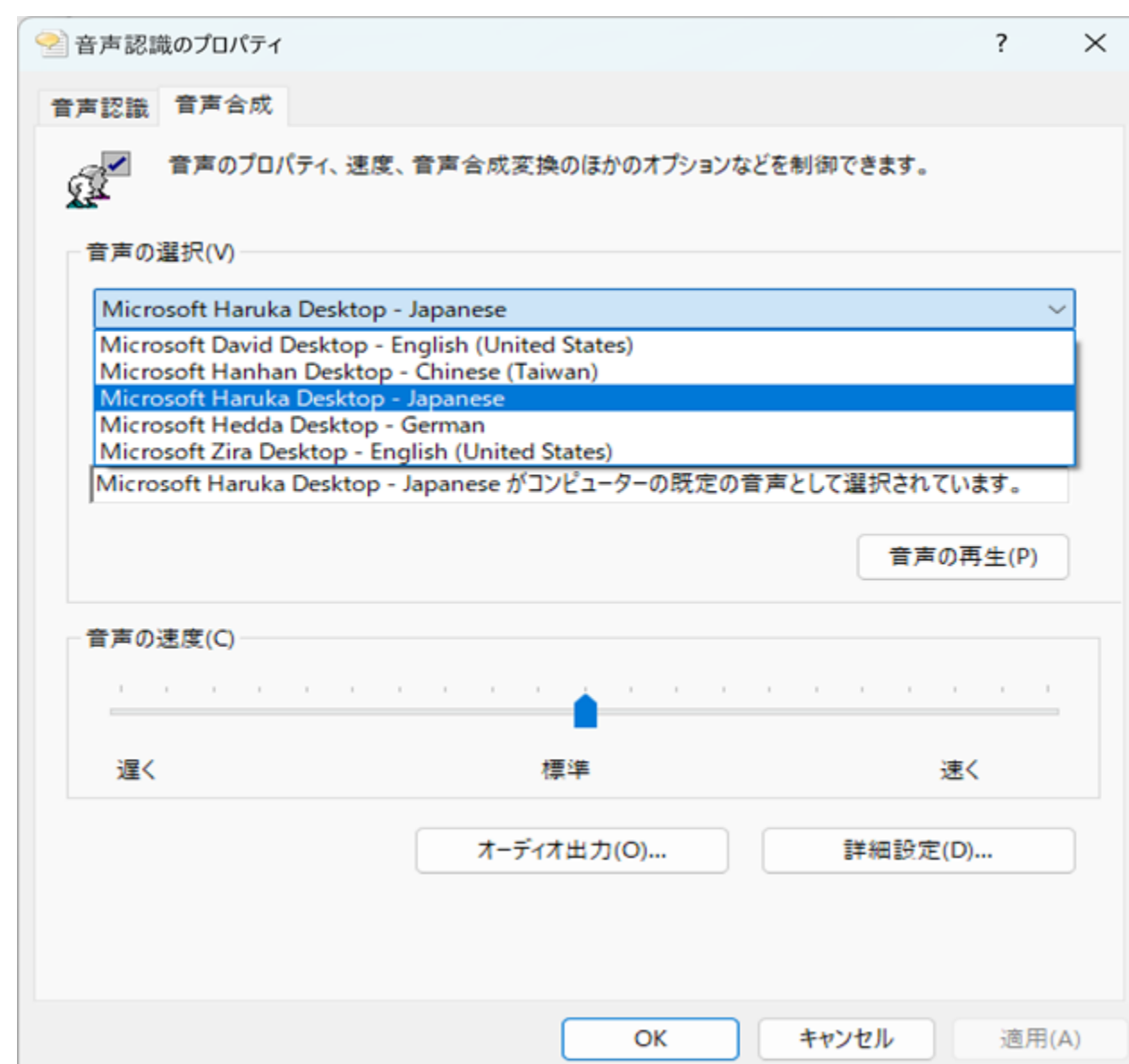
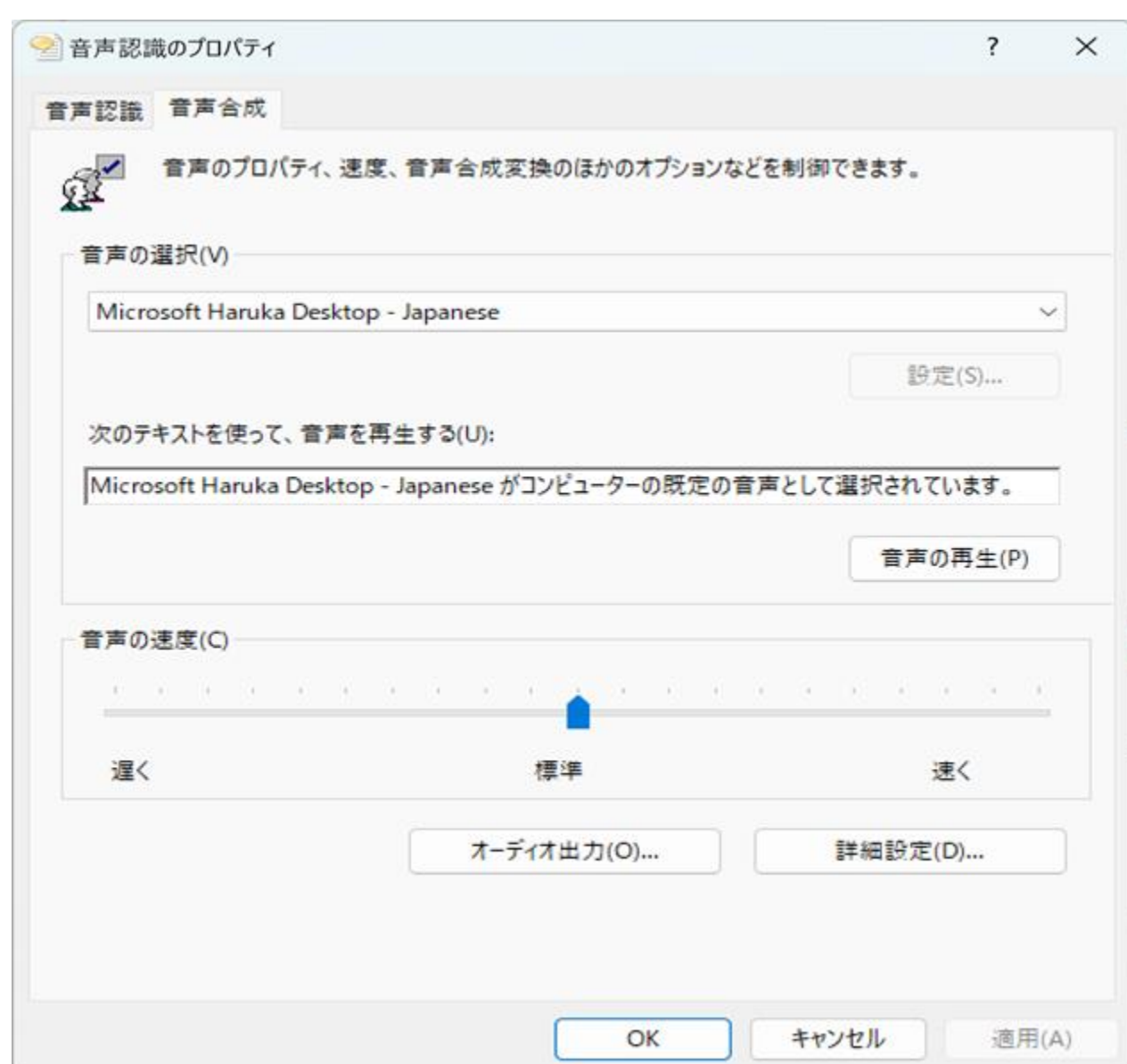


④ 音声合成の設定方法

③ 左側のメニューから「音声合成」を選択します。



④ 「音声の選択(V)」のドロップダウンリストから「音声」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。(推奨音声: Japanese)



Tips

音声のドロップダウンリストに「Japanese」を含む項目が表示されない場合は、言語設定画面での音声ファイルのダウンロードが必要です。

1. 設定 > 時刻と言語 > 言語と地域 の順で画面を開きます
2. 言語欄の「日本語」と表示されている項目の「・・・」ボタンをクリックし、「・・・言語のオプション」を選択します
3. 「音声合成」、「音声認識」の項目で音声ファイルのダウンロードを実施します。(数分程度かかります)
4. インストール済みの表示になれば完了です

⑤ BONX WORKアプリの開始

1. BONX WORKアプリへのログイン

ユーザーアカウントのログイン

アプリを起動するとログイン画面が表示されます。

- 1 ユーザーアカウントのログインは、**BONXアカウント**をクリックします。
- 2 予め登録されたB4B IDを入力し、**次へ**をクリックします。
- 3 メールアドレス、パスワードを入力し、**ログイン**をクリック。

※自動生成パスワードでログインの場合は③のあとにログイン用パスワードの変更、ニックネーム設定画面に移ります

※各種権限の許可画面が表示された場合は、全ての項目を許可してください。



招待メールの確認

BONXファミリーへようこそ！
BONX WORKカスタマーサポートチームです。

このたび、
さまのアカウントが[]から招待されました。
早速アプリをダウンロードして本登録を行い、BONXを体験してみましょう！

- B4B ID : []
- メールアドレス : []
- パスワード : ZQwQQ858

アプリのダウンロードはこちらから
iOSアプリ : <https://apps.apple.com/jp/app/bonx-work/id1314851949>
Androidアプリ : <https://play.google.com/store/apps/details?id=co.bonx.b4b&hl=ja>

テナント管理画面のログインはこちらから
<https://console.bonx.co.jp/signin>

テナント管理者から
ユーザーアカウント追加をされている場合、
左図のような招待メールが届きます。

招待メールに記載されている
- B4B ID
- メールアドレス
- パスワード

を確認し、アプリのログイン画面で
入力を行なってください。

自分がどのアカウントに該当するか
わからない場合は、テナント管理者に
確認してください。

Tips

ログイン時に、パスワードが分からなくなってしまった場合は、[こちら](#)を参照しパスワードの再設定を行なってください。
※BONX側ではお調べできかねますので、ご了承ください。

⑤ BONX WORKアプリの開始

1. BONX WORKアプリへのログイン

共用アカウントのログイン

共用アカウントのログインは、テナント管理者/マネージャーから発行された共用アカウントコード（パスコード）が必要です。

① ログイン画面で [共用アカウント→] を選択

② コードを入力し、ログインをします。

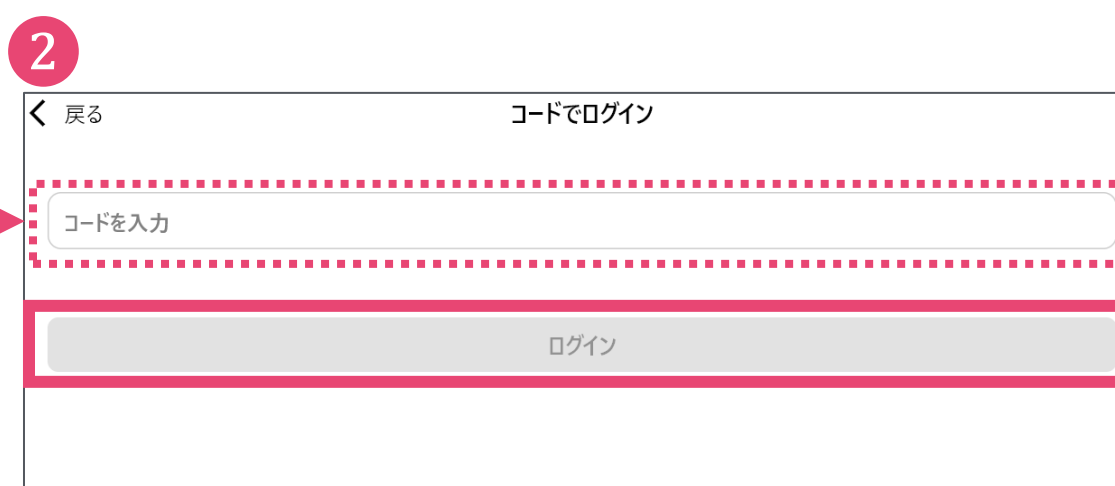
ログイン後は、アプリ内で使用するニックネーム・アイコンの設定に進みます。

管理者操作：コンソール画面からコードを表示

(コンソール画面：ユーザー画面)



ログイン側の操作：コードの入力

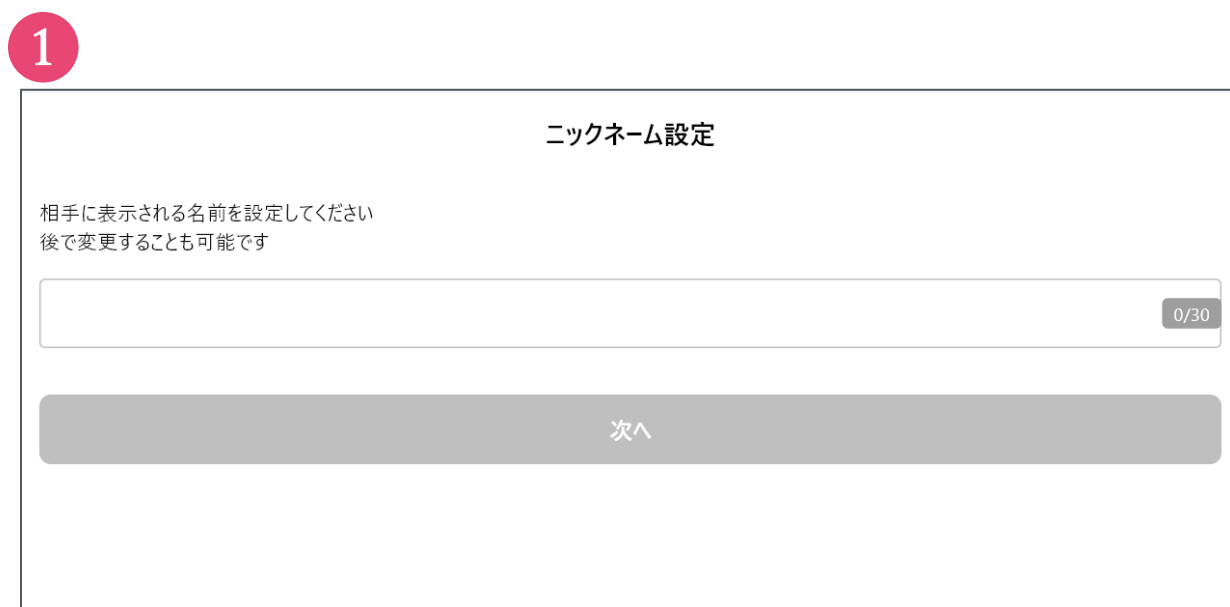


ニックネーム・アイコンの設定

ログイン後は、ニックネームとアイコンの設定を行います。

① ニックネーム：アプリ使用時の表示名・呼び出し名として使用します。ひらがな、またはカタカナを推奨します。

② アイコン：設定をしておくことで、個人の判別がしやすくなり、便利です。設定を行ったら、右上の [完了] をタップします。



⑤ BONX WORKアプリの開始

2. アプリ画面の各部名称

すべてのルーム画面：ログイン後に表示されます



🔍	ルーム検索機能
+	ルーム作成・参加
⋮	ルーム並び替え・表示形式 ルームリスト更新

●	すべてのルーム： アプリのメイン画面です
👤	設定画面： アプリの各種設定を行えます
💬	メッセージ一覧： 各ルームのチャット画面に遷移 ビジネスプラン/有償オプション契約の お客様に表示されます

設定画面：アプリ内の各種設定を行えます



- ① テナント名
- ② 管理画面：管理者・マネージャーのみに表示
- ③ ニックネーム・アイコン変更
アカウント設定からも変更可能ですが、
画面に遷移せずに簡単に変更可能
- ④ アカウント設定
ユーザーアカウントの場合、
メールアドレスやパスワードをこちらから変更可能
- ⑤ トーク設定
アプリの音声周りの機能を調節、設定できます。
詳細はPをご覧ください
- ⑥ アプリの使い方
ヘルプページに遷移します
- ⑦ ⑧ お知らせ／利用規約／プライバシーポリシー
外部サイトに遷移します
- ⑨ ログアウト
ログアウト後は、アプリログイン画面に遷移します

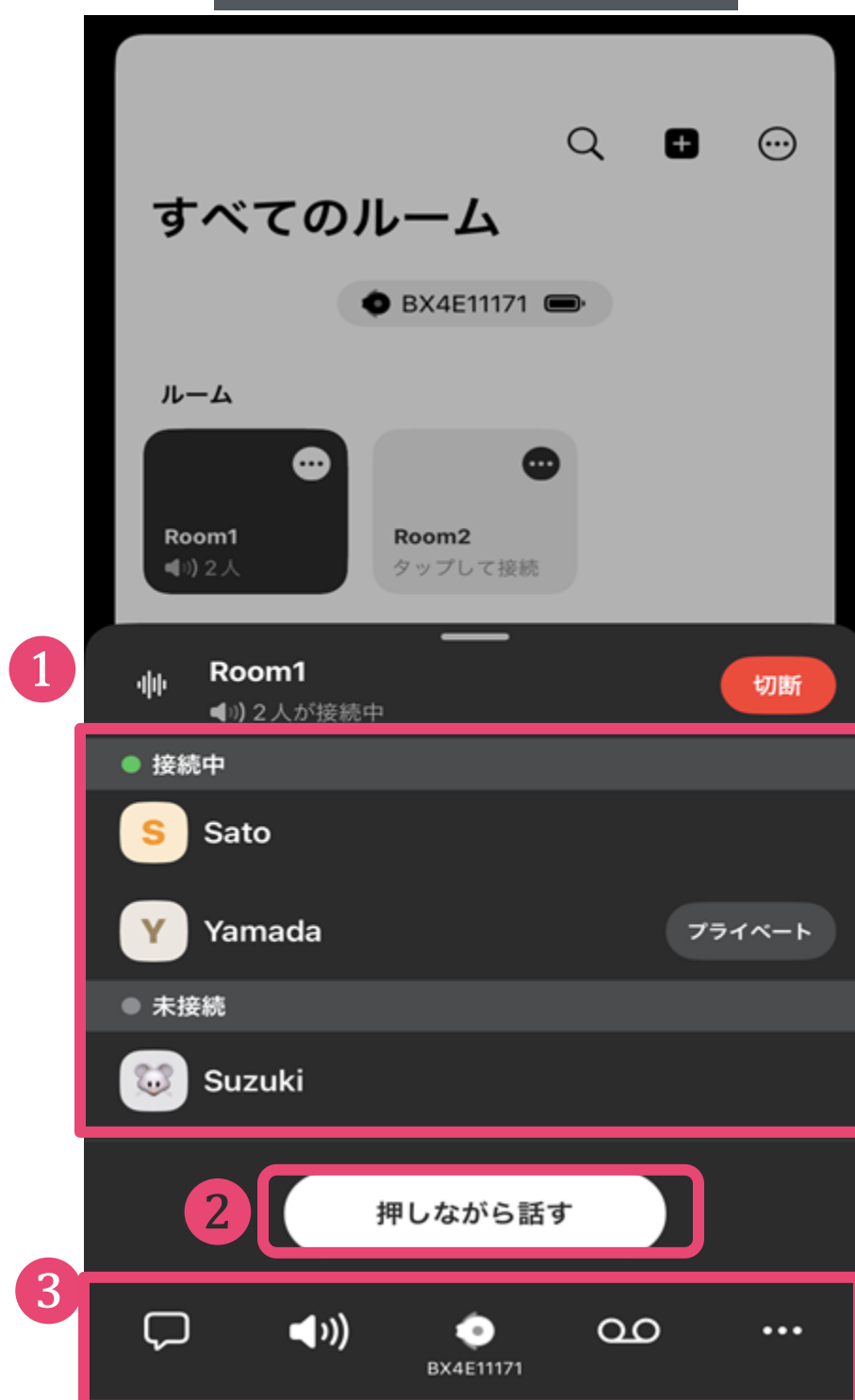
⑤ BONX WORKアプリの開始

2. アプリ画面の各部名称

トーク操作パネル：トークルーム接続後の画面

トークルームに接続すると、画面下部よりトーク操作パネルが立ち上がります。トーク操作パネル内には、音声発信を行うためのマイク操作ボタンや、各機能のアイコンが表示されています。

トーク操作パネル

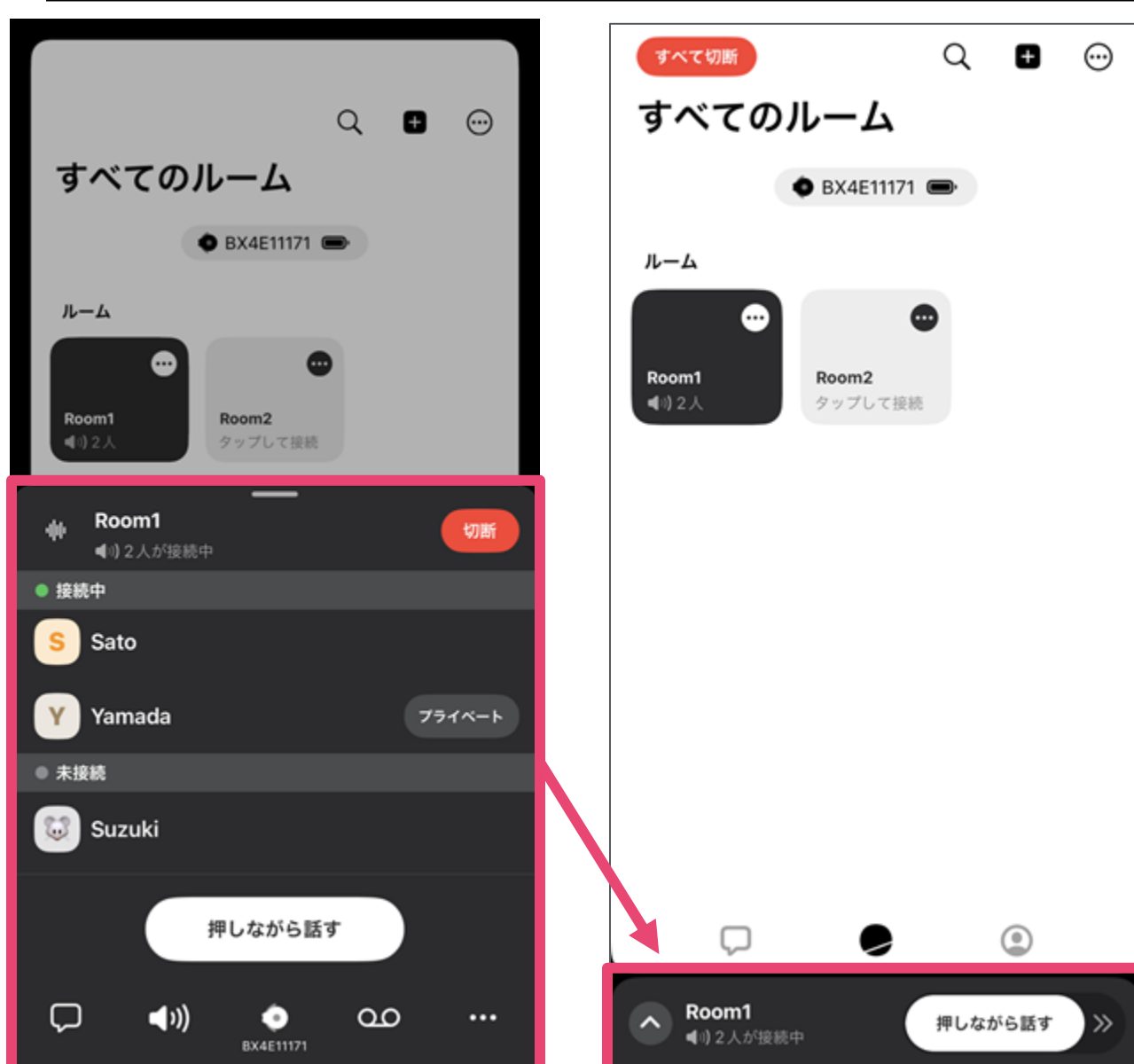


- 1 接続中／未接続メンバーリスト
 - ・ 接続中：現在ルーム内に接続しているメンバー一覧
 - ・ 未接続：ルームに接続していないメンバー一覧
- 2 マイク操作ボタン
アプリの画面操作で発話を行いたい場合に使用します
詳しい操作は、～をご覧ください。

3 各種アイコン

	チャットアイコン（ビジネスプラン/有償オプション契約者のみ表示）
	ルーム音量調節
	接続中デバイスの表示
	録音アイコン（ビジネスプラン/有償オプション契約者のみ表示）
	ルーム詳細

トーク操作パネルを縮小表示する場合



トーク操作パネルは縮小表示することが可能です。トーク操作パネルを上から下に向けてドラッグするもしくは、パネル外をワンタップすると、画面下部に縮小表示されます。

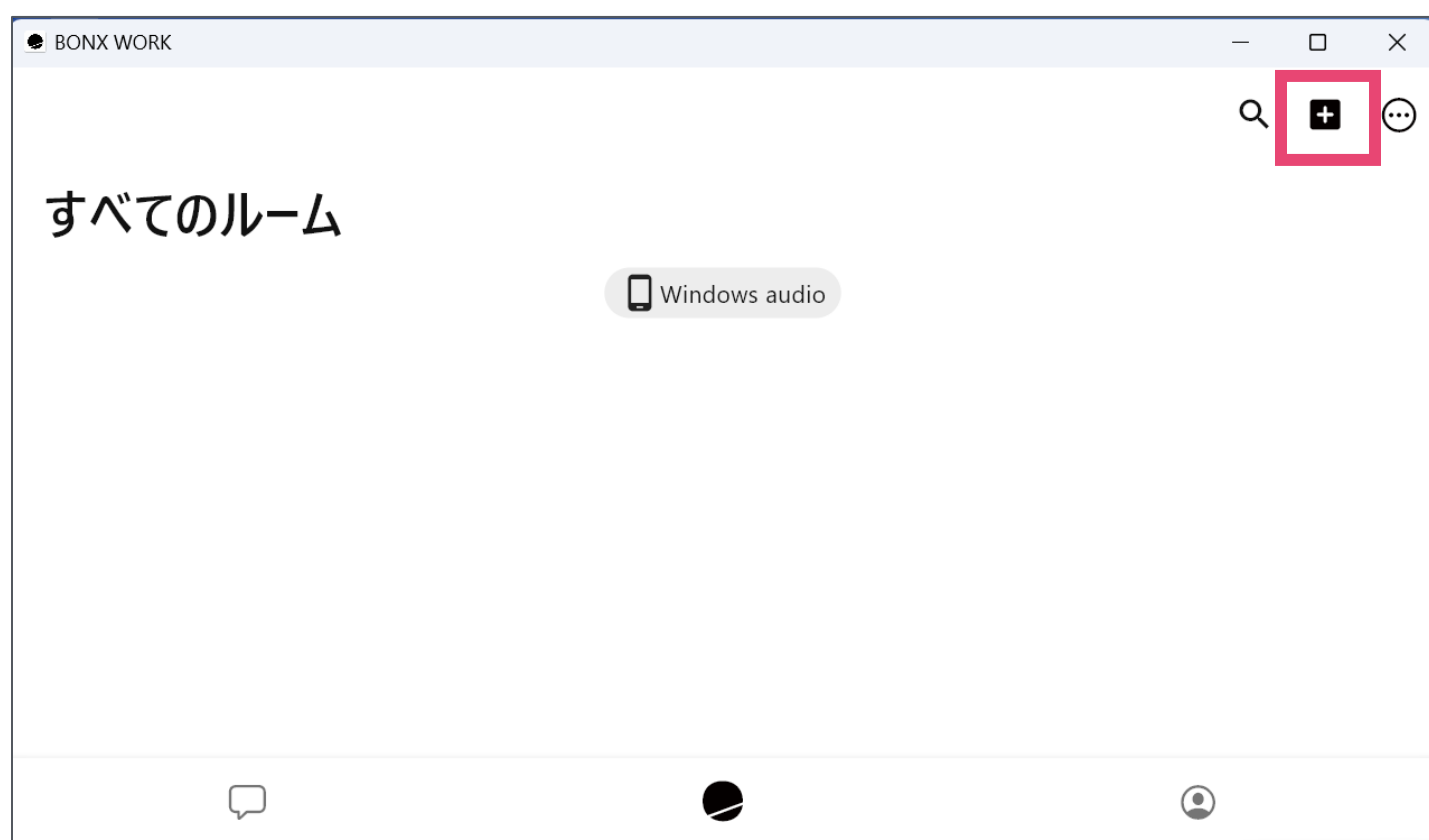
再度、フル表示させたい場合は、接続中のルームアイコンをタップするか、縮小表示されているトーク操作パネル部分をタップすると元の大きさに戻ります。

⑥ トークルームの作成・招待・参加

1. トークルームの作成

アプリ内で通話を行うにはトークルームが必要です。トークルームを作成し、メンバーを招待します。

※管理者・マネージャー権限のみルーム作成・招待できます。



① 画面右上の [+] マークを開きます



② [新規ルーム作成] を選択します



③ ルーム名を入力し、右上の [作成] を押します
※ルーム名は後から変更可能です



④ ルーム招待画面が立ち上がるので、招待したいアカウントを選択し、招待を送ります。画面下部 [招待コード] よりルームキーなどを表示することも可能です
※招待方法の詳細は次ページへ

すぐに招待しない場合は、右上の [スキップ] を押して、すべてのルーム画面に戻ります

Notice

新しいルームを作成したい時のみ、ルーム作成をしてください。
既に作成/招待済みのルームに参加するときは、トークルームの入退室方法を参照ください。

⑥ トークルームの作成・招待・参加

2. トークルームの招待

トークルームの招待方法は、4通りあります。（①～④をご覧ください）
招待したいルームのアイコン右[⋮]からルーム詳細を開き、[ルームへ招待]を選択すると
ルームの招待画面が表示されます。※管理者・マネージャー権限のみ招待できます。
招待を受ける側のユーザーは、次ページの参加方法をご覧ください

ルームへ招待画面の表示方法



①メンバーリスト招待	招待したいメンバーを選び、 一気に招待を送ることができます 招待された相手には、通知が届きます
②QRコード	招待したい相手のアプリ画面で読み取ってもらいます ※PC版アプリを利用中のユーザーに共有する 場合、別の方法で参加してください
③ルームキー	招待したい相手に入力してもらいます ※24時間ごとにルームキーは変更されます 共有する際は有効期限にご注意ください
④招待リンク送付	招待したい相手にメール等でルームURLを送 付します ※招待された側はアプリログイン後にルーム URLにアクセスしてください

①メンバーリスト招待



[ルームへ招待]を押すと上記のように
メンバーリストの画面が表示されます

招待したい人にチェックを入れ、
画面下部の[○名に招待を送る]を押すと
相手のアプリに通知が届きます

②～④



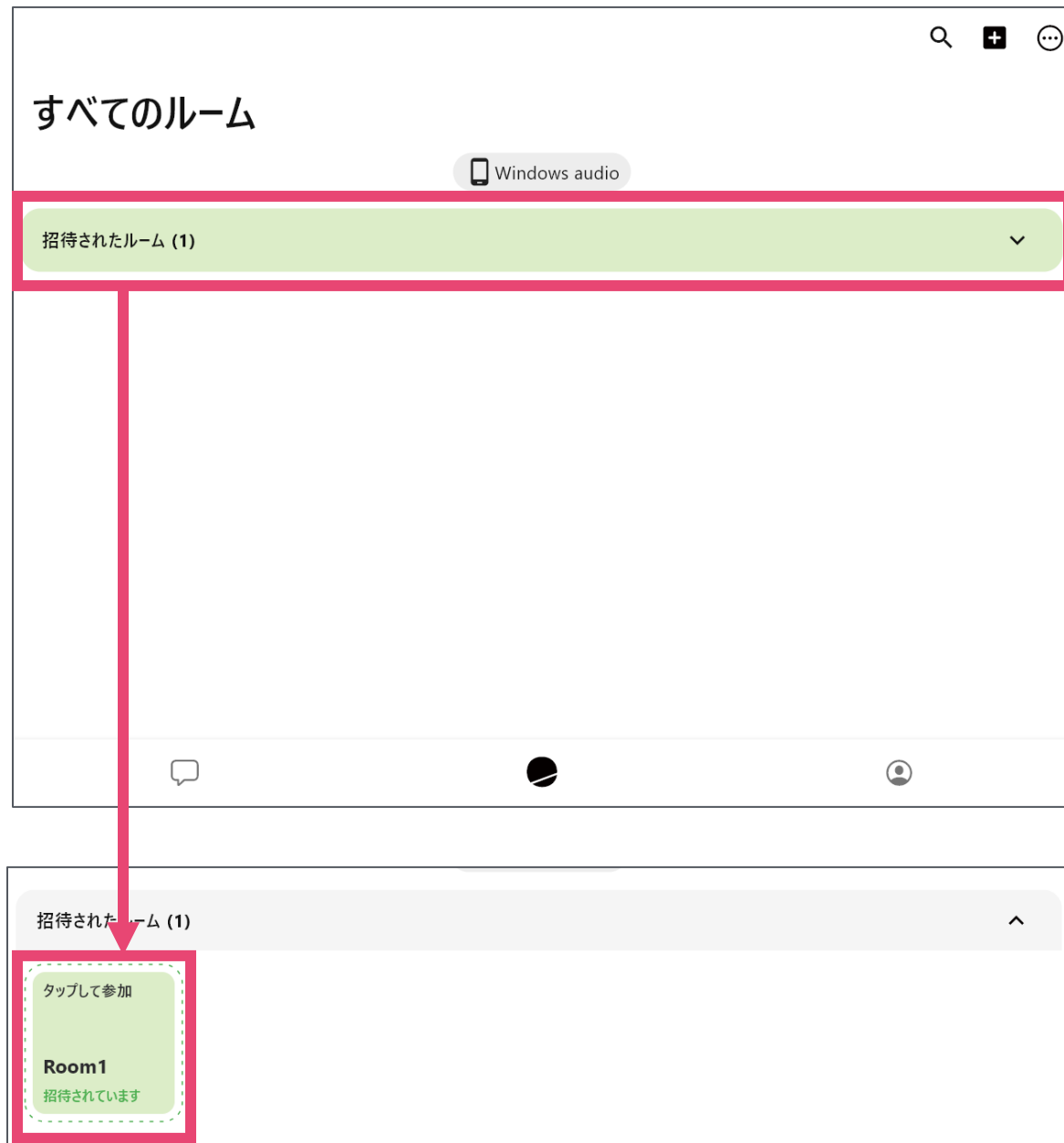
②～④を表示するためには、①の画面の下部にある[招待コード]を
選択すると表示されます。

⑥ トークルームの作成・招待・参加

3. トークルームの参加

トークルームの参加は、初めてそのルームに参加するときの操作になります。
招待方法によって操作方法が異なります。
すでに該当のルームに参加済みの場合は、本ページではなく次ページをご覧ください。

メンバーリストより招待された場合



メンバーリスト招待を受けた場合、
すべてのルーム画面上に「招待されたルーム」が表示されます。

薄緑のルームアイコンをクリックします。



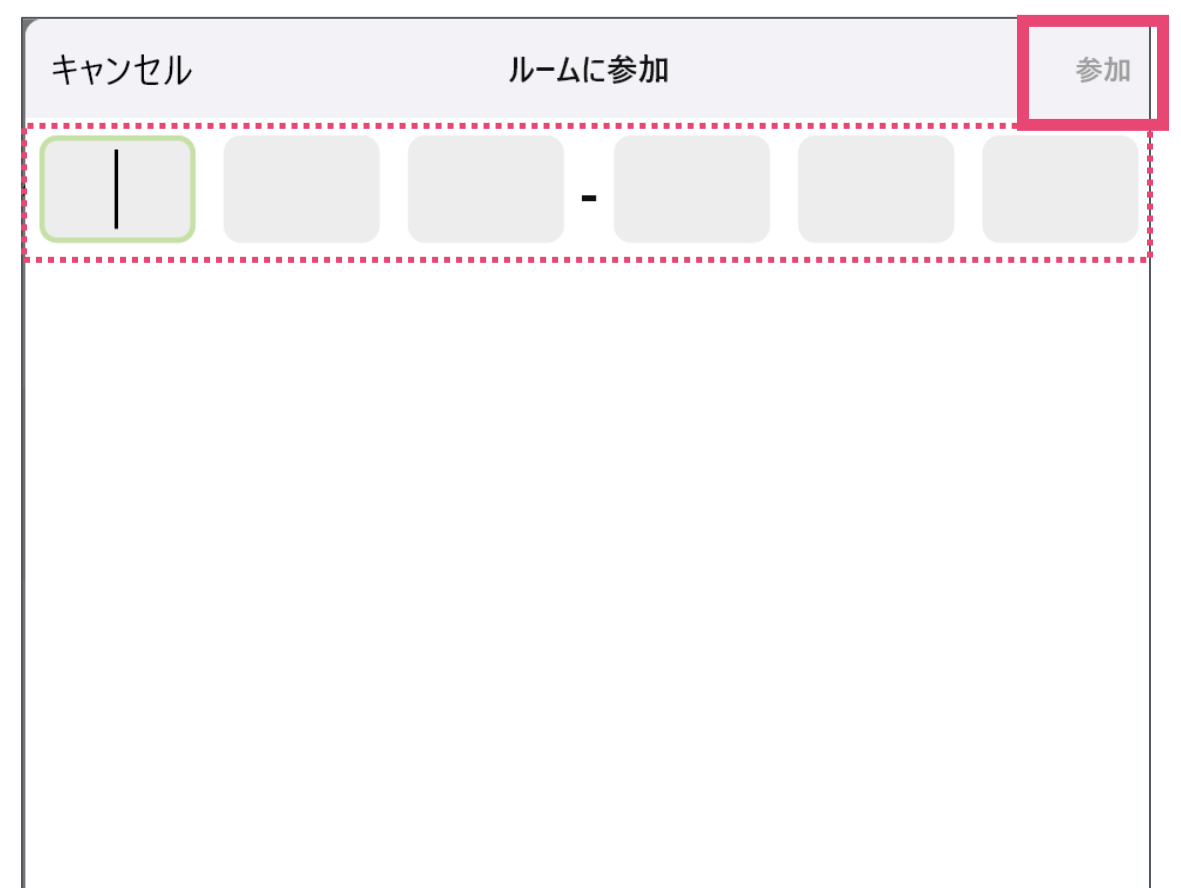
ポップアップが表示されたら、「参加」を押します。

グレーのルームアイコンが元の画面に表示されたら、
ルーム参加は完了です。

ルームキーで参加する場合



まずは、ルーム参加画面を表示します。
すべてのルーム右上「+」から「ルームに参加」を開きます



6桁のルームキーを入力します
(ルームキーの出し方は前ページをご覧ください)
入力し、右上の「参加」を押すと、参加完了です

グレーのルームアイコンが元の画面に表示されたら、
ルーム参加は完了です。

※ルームキーの有効期限は24時間です
※参加ができない場合は、有効期限切れの可能性があるので、テナント管理者・マネージャーに確認して下さい

⑥ トークルームの作成・招待・参加

4. トークルームの入退室

トークルームの入室（接続）

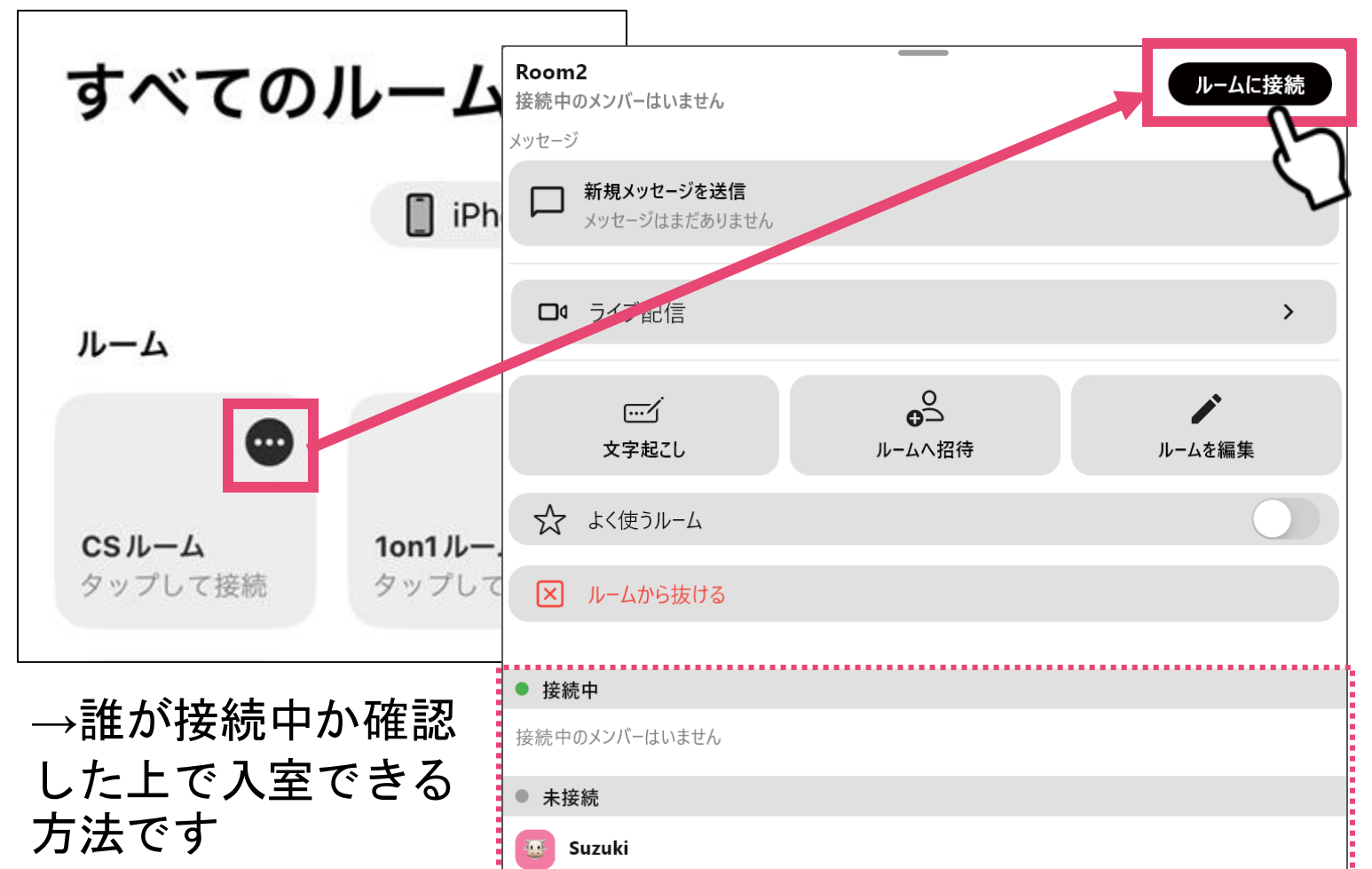
トークルーム参加が済んだら、トークルームに接続を行いましょ。同じルーム内にいる接続中のメンバー同士と通話を行うことができます。
ルームに接続すると、該当のルームアイコンがグレーから黒に変わり、トーク操作パネルが立ち上がります。

入室方法① ワンクリックで入室



↑ 簡単な入室方法です

入室方法② ルーム詳細から入室



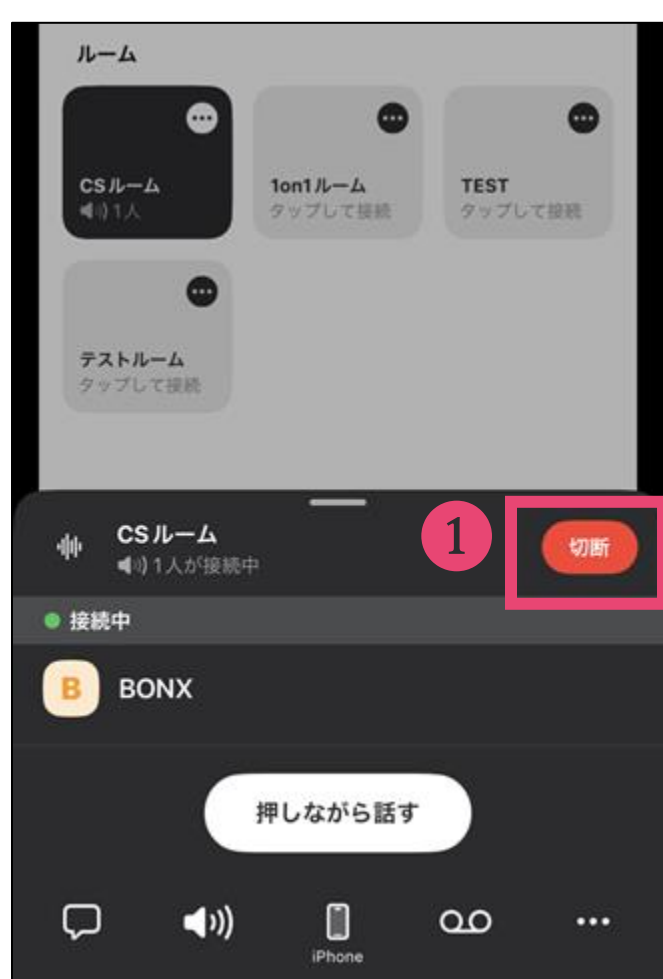
→誰が接続中か確認した上で入室できる方法です

トークルームの退室（切断）

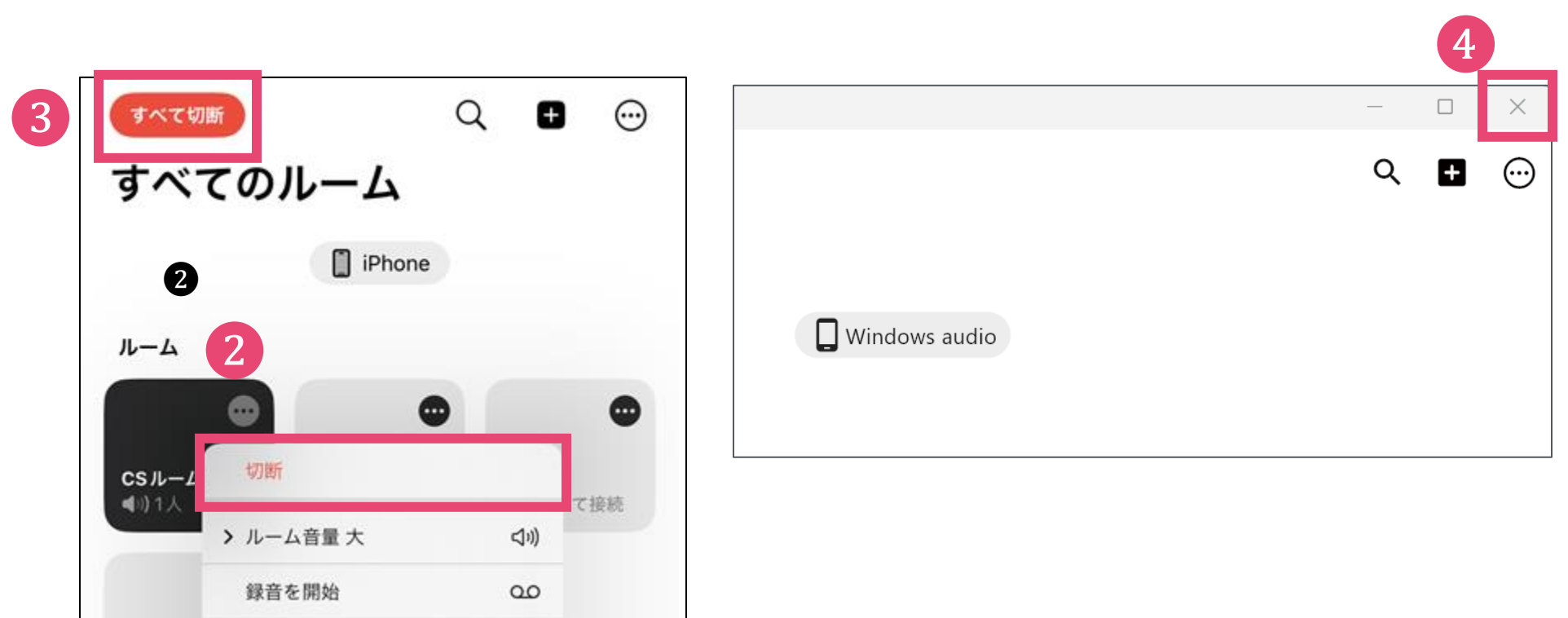
トークルームから切断すると、ルーム内の会話は聞こえなくなります。

- 1 トーク操作パネルを立ちあげ、[切断]
- 2 ルームアイコン右 [...] からルーム詳細を開き、[切断]
- 3 すべてのルーム画面左上の [すべて切断] を選ぶと接続中の全ルームから一斉切断します
- 4 アプリ画面の右上の [x] からアプリごと閉じても切断されます

トーク操作パネルから退室



その他の退室方法



Tips

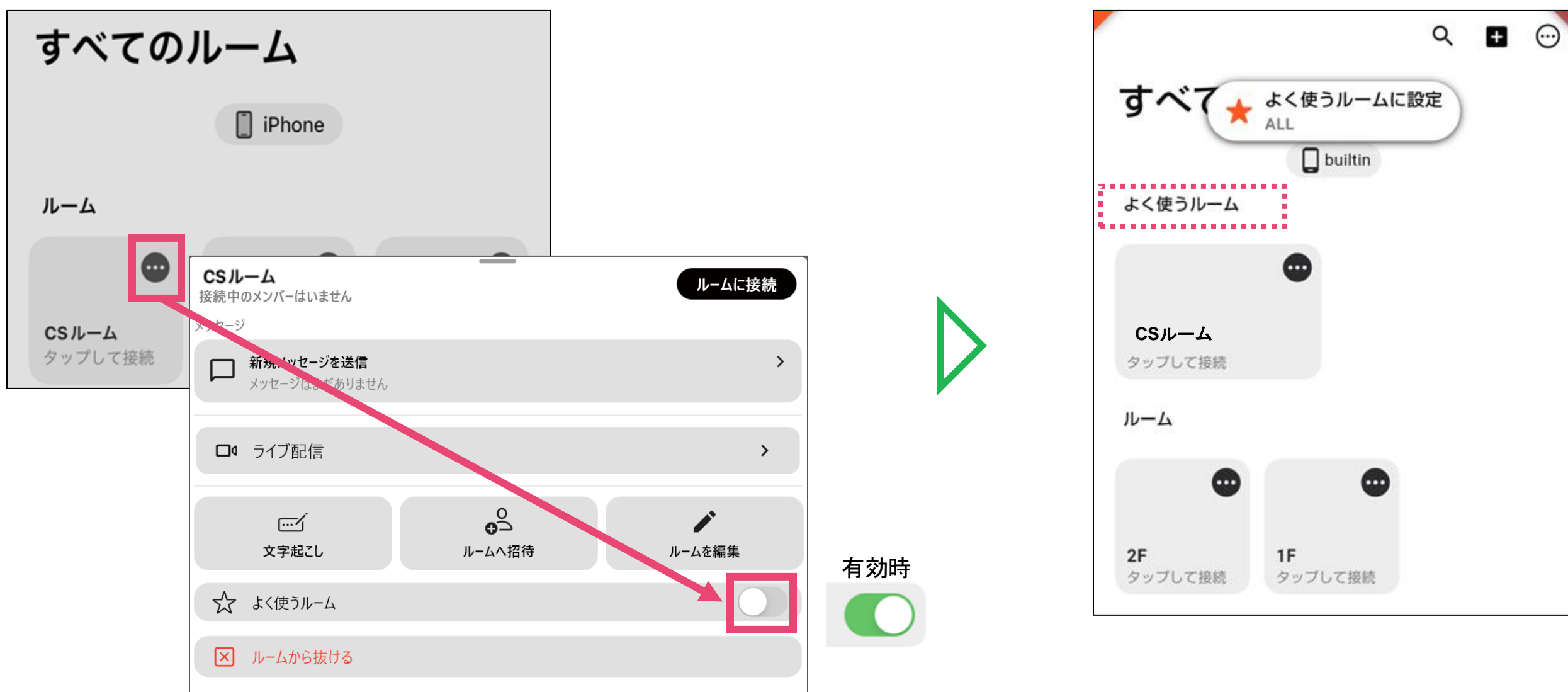
- ・ エントリープランでは、同時に接続できるルーム数は1ルームのみです。
(※複数ルーム接続可能なユニットトーク機能は、ビジネスプランもしくは有償オプションのお申込が必要です)
- ・ ルームに51人以上の同時接続を希望されるお客様はBONXチームへ別途ご連絡ください
(※ビジネスプランもしくは有償オプションのお申込が必要です)

⑥ トークルームの作成・招待・参加

5. よく使うルームとルーム検索

よく使うルーム

よく使うルームを設定すると、すべてのルームの一番上に表示され、ルームを見つけやすくなります。参加しているルームが多い場合、有効に使える機能です。

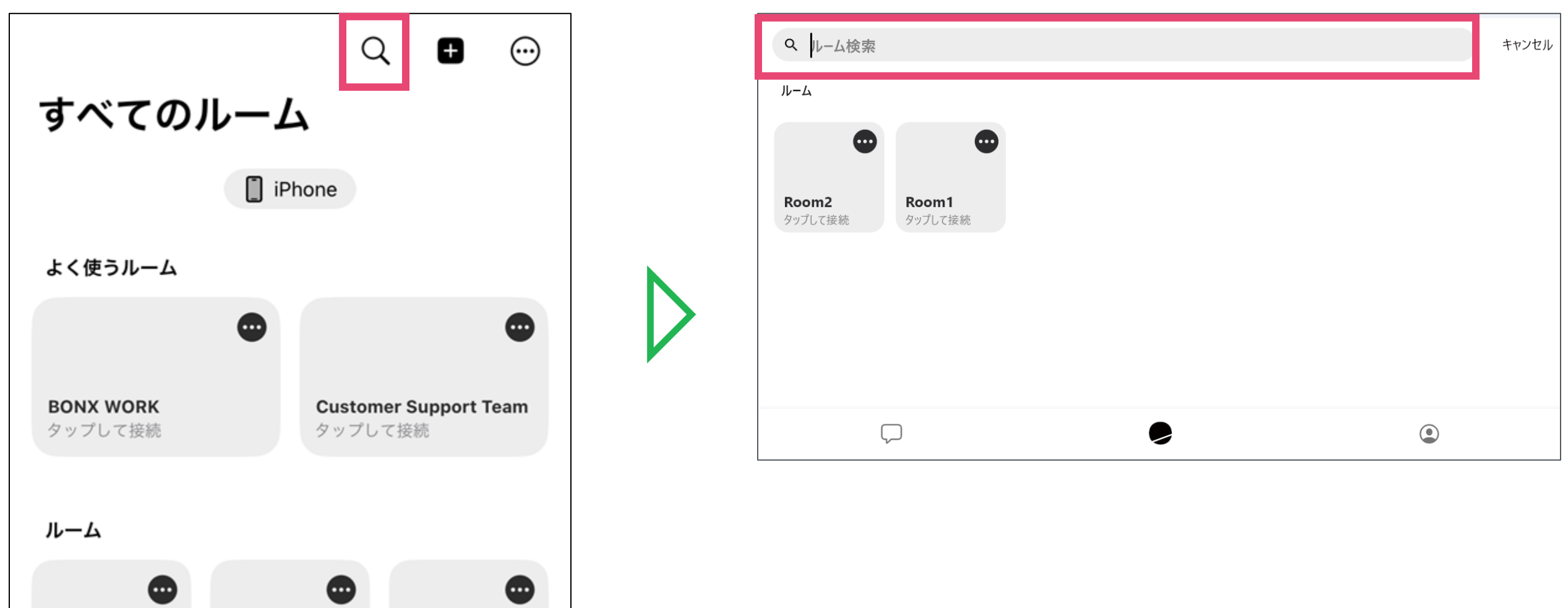


ルーム詳細 [...] を開きます。
よく使うルームをクリックしてオン（有効）にします

「よく使うルーム」がルーム一覧の一番上に表示されます。よく使うルームから削除したいときはルーム詳細からオフにすると、元のルーム一覧にルームの表示が戻ります。

ルーム検索機能

すべてのルーム右上の虫眼鏡マークから、ルームの検索が行えます。検索したいワードを入力すると、ヒットした文字列を含むルームが検索できます。
※招待中のルームも表示されます



⑥ トークルームの作成・招待・参加

6. ルームの表示形式と並び替え

ルームの表示形式を行う

ルームの表示形式の変更を行うことができます。
すべてのルーム右上の [...] をタップします。
ルームの表示形式は、グリッド表示 or リスト表示の2種類から選択可能です。
※初期画面はグリッド表示です



ルームの並び替えを行う

ルームの並び替えは、最後に接続した時間順、ルーム名、任意の並び方の3種類から選択可能です。

最後に接続した時間	最後に接続したルーム順に並び替えます (初期設定)
ルーム名	A→Z順に並び替えが行われます
任意の並び順	ルームを長押ししてドラッグすることで好きな順番に変えることができます

The image shows a screenshot of the 'すべてのルーム' (All Rooms) menu with '最後に接続した時間' (Sort by last connected time) selected. Below it is another screenshot showing a grid of rooms where the 'CS ルーム' card is being long-pressed and dragged to a new position. A red arrow points from the '任意の並び順' (Arbitrary sort order) row of the table to this action.

任意の並び順にするには、並び替えたいルームを長押しし、好きなところへ移動します。他の並び順を選ぶと、任意の並び順はリセットされます。

⑦ トーク方法・通話時の設定

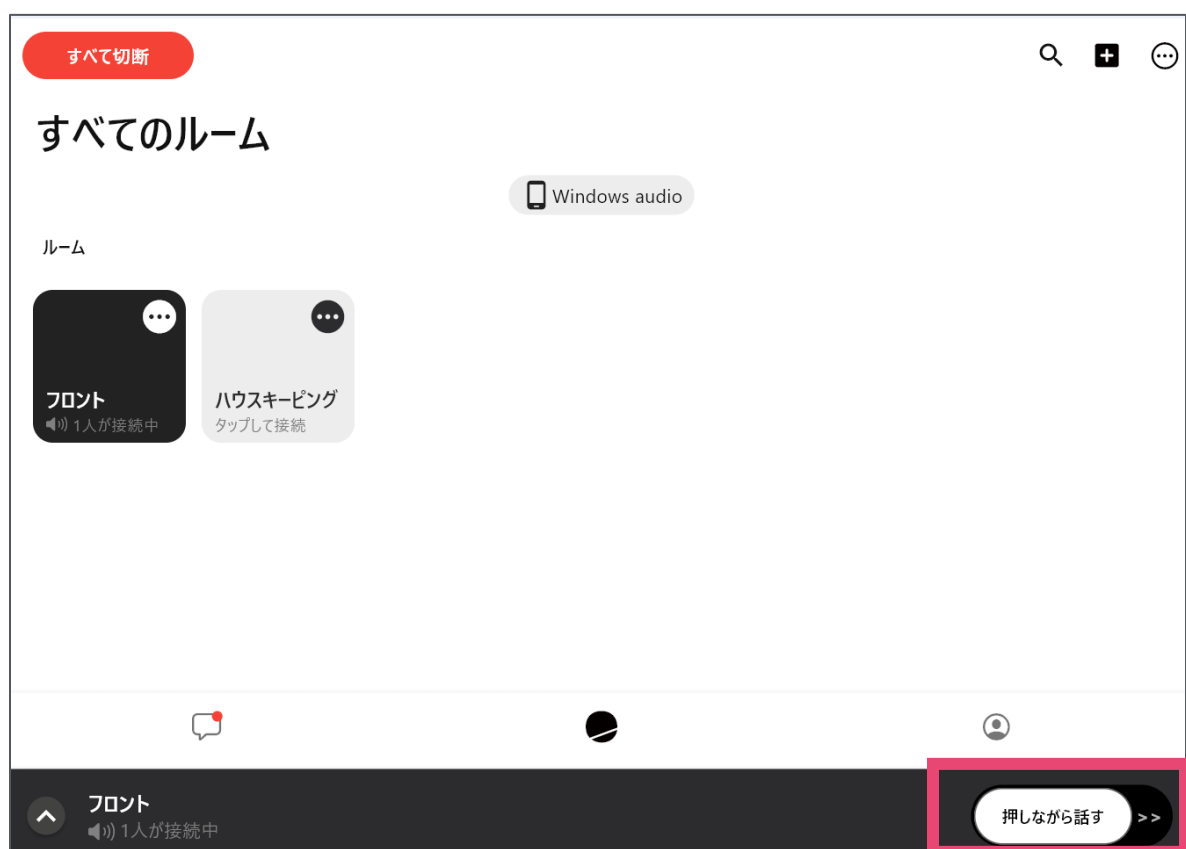
1. トーク方法

2種類のトーク方法

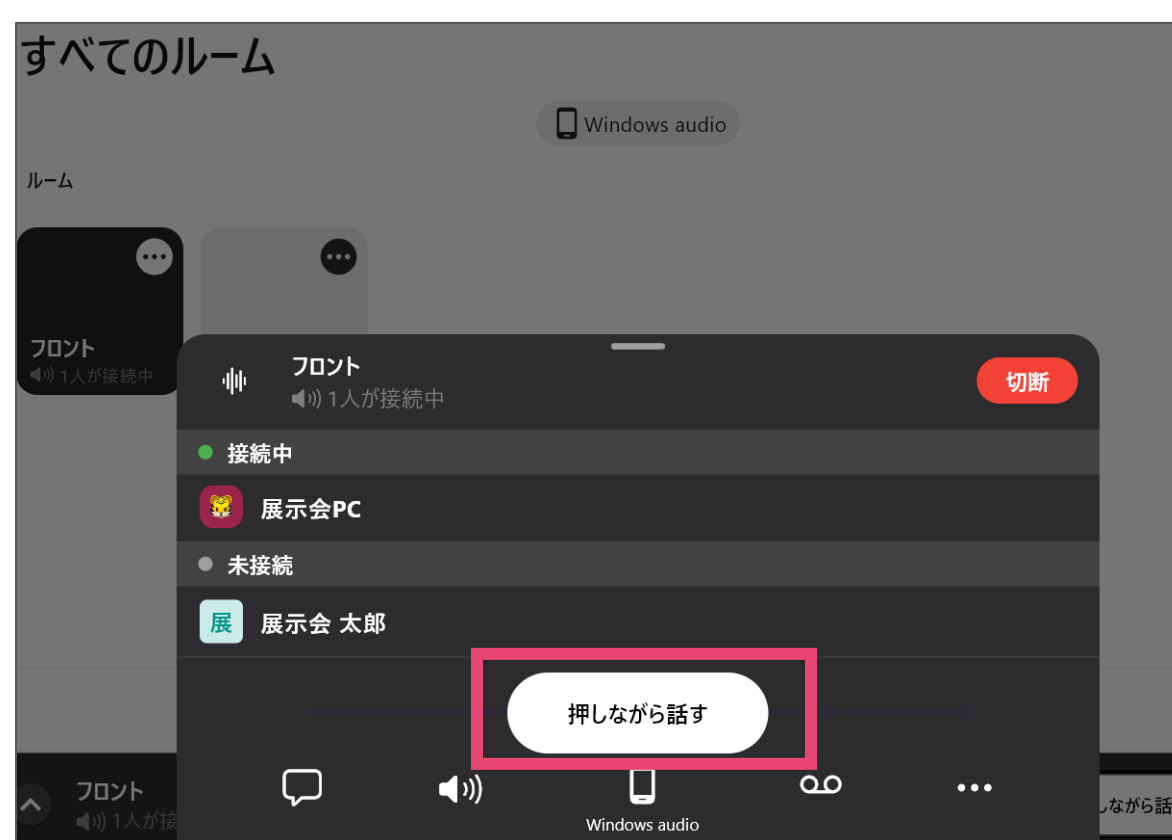
PC版ではイヤフォンのボタン操作での通話は不可の為、アプリ上のマイク操作ボタンを使用して、発話を行います。（ボタン位置は、下図1・2を参照）
シチュエーションに応じて2種類のトーク方法を使い分けることができます。

トーク方法① 押しながら話す	ボタンを押している間だけマイクがONになり、相手へ音声を送信されます。トランシーバーのようなイメージです。
トーク方法② マイクのオンオフ切替	ボタンのスライド操作をし、マイクオン・オフの切替を行うことができます。マイクオンの間はボタンから手を離れた状態で発話が可能です。通話を終わるときはボタンをスライドで戻し、マイクをオフにします。

ボタン位置（図1）



ボタン位置（図2）



音声送信のイメージ

トーク方法① 押しながら話す

ボタンを長押ししている間のみ相手に声が届きます。ボタンから手を離すと、声が届かなくなります

ボタン

音声

※ [押しながら話す] のボタンを長押し操作します

トーク方法② マイクのオンオフ切替

ボタンを横にスライド、マイクオンにします。マイクオンの間は、ボタンから手を離れたまま発話可能です。発話を終わる時にボタンをスライドし、元の位置に戻すとマイクがオフになり、相手に声が届かなくなります。

マイクオン
(SE音：オン)

マイクオフ
(SE音：オフ)

ボタン

音声

※ [押しながら話す] を横へスライドし、[マイクオン] にロックしている間、ハンズフリーで発話が可能です

⑦ トーク方法・通話時の設定

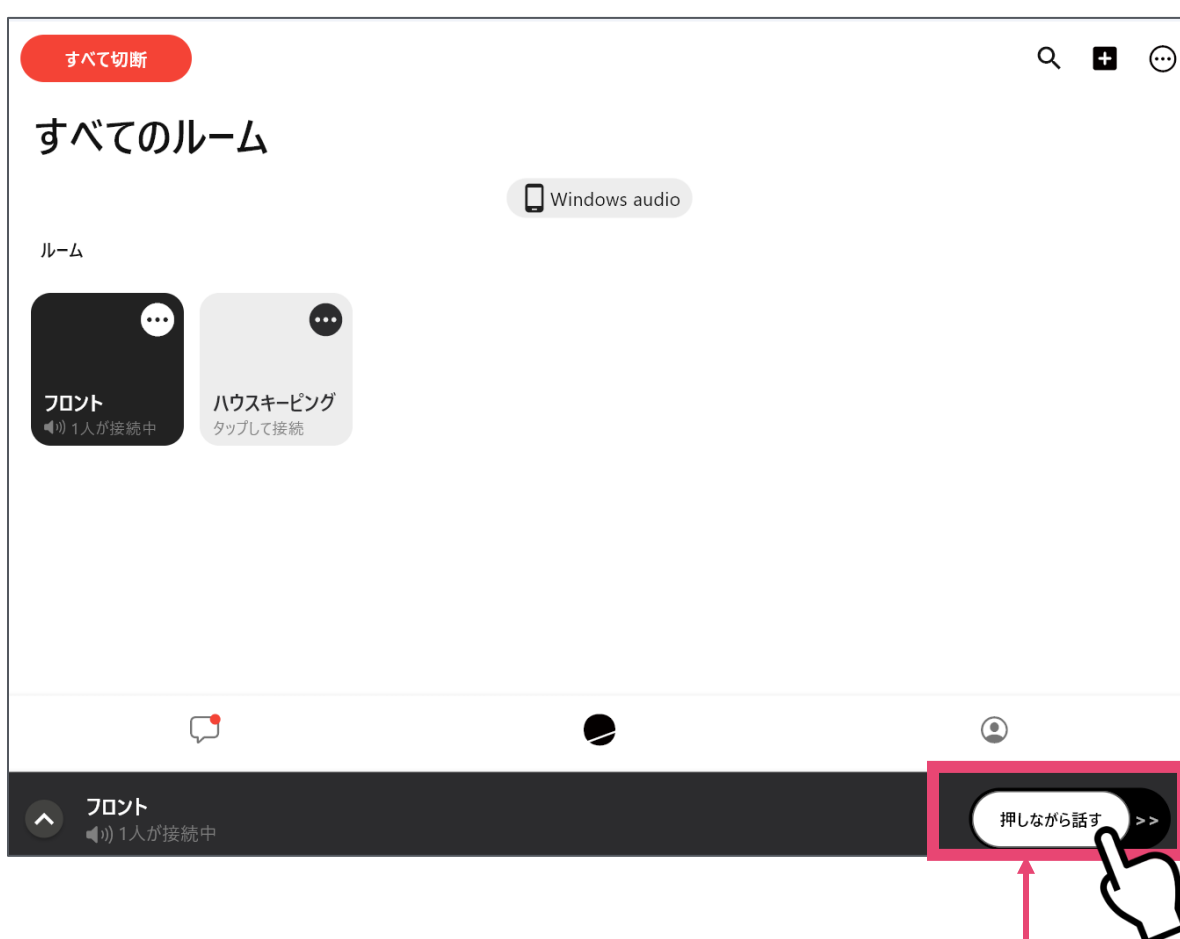
1. トーク方法

ボタン操作の方法

トーク方法①の押しながら話すを使う際は、ボタンを長押ししながら発話をします。
トーク方法②のマイクオンオフ切替を使う際は、ボタンを右にスライドし、ボタン表示をマイクオンに変えてから発話を行います。

トーク方法① 押しながら話す

ボタン位置 (図1: トーク操作パネル縮小状態)



ボタン位置 (図2: トーク操作パネル立ち上げ状態)

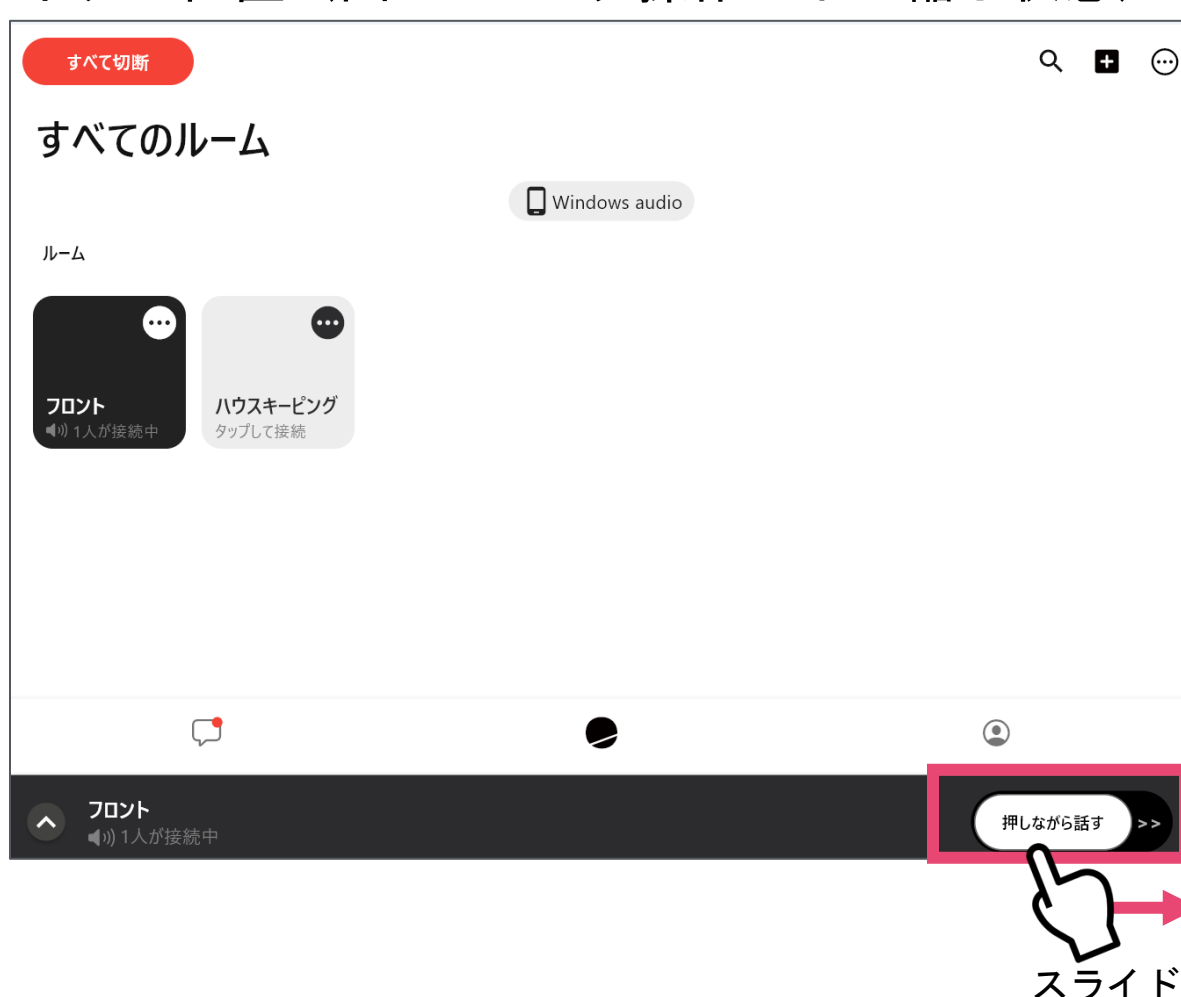


押しながら話す

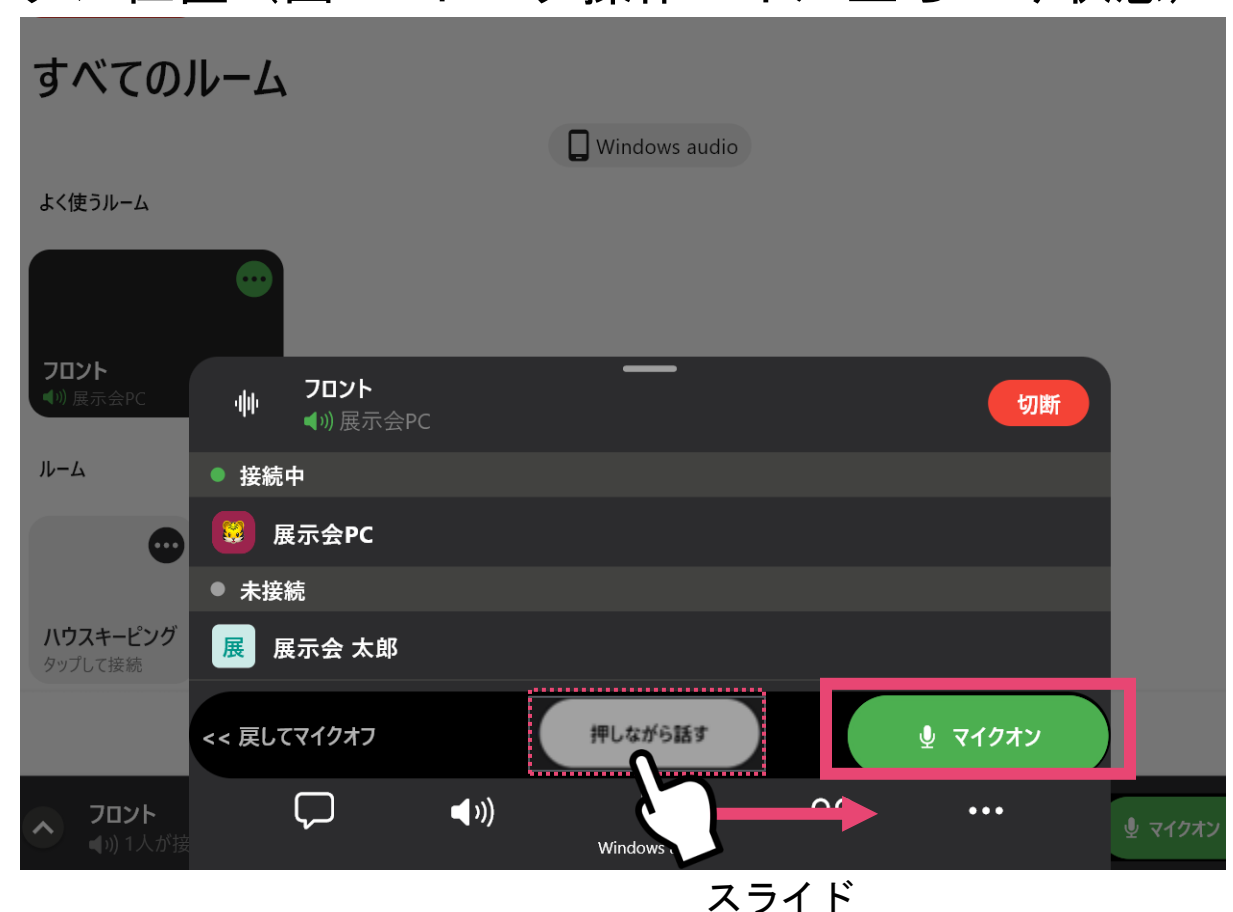
ボタンを長押ししている間は左図のように緑色にボタンが光ります
発話をし終わったら、ボタンからカーソルを離すと声は届かなくなります

トーク方法② マイクのオンオフ切替

ボタン位置 (図1: トーク操作パネル縮小状態)



ボタン位置 (図2: トーク操作パネル立ち上げ状態)



マイクオン

発話時は、ボタンを右にスライドし、左図のように「マイクオン」にします。
この表示の間は、手を離れた状態で発話が可能です。
発話終了時は、ボタンを元の位置にスライドし、「押しながら話す」に表示が戻れば、声は届かなくなります。

⑦ トーク方法・通話時の設定

2. 通話のカスタマイズ - トーク設定

トーク設定では、通話中の音声関連の設定を行うことができます。
【表示方法】設定画面>トーク設定



① マイクの入カレベル

現在のマイクに入カされる声のレベルをメーター表示しています。

② 声の検出 (マイク操作ボタンのロック時)

マイクオン状態の声が届きにくい時は、オフにすることによって、相手に声が届きやすくなります。但し、騒音も入りやすくなります。

③ 声の検出感度

声が認識されづらい時に操作します。相手側に声が届かない、届きづらいと感じる時にあげてください。

④ スピーカーブースト

音量を上げたい時に操作します。イヤフォンの音量を最大にしても聞こえづらい時、さらに音量を上げたい時にお試しください。
急に最大にすると思わぬ音の大きさになる可能性があります。
徐々にあげて様子を見るようにしてください。

⑤ 他人の状態の通知

他人の入退室音や電波状態の通知のOn/Offを設定します。
*自分の状態通知は消すことはできません。
*ガイダンスの音声の音量は調整できません。

※初期状態に戻すときは、右上の [リセット] を押します

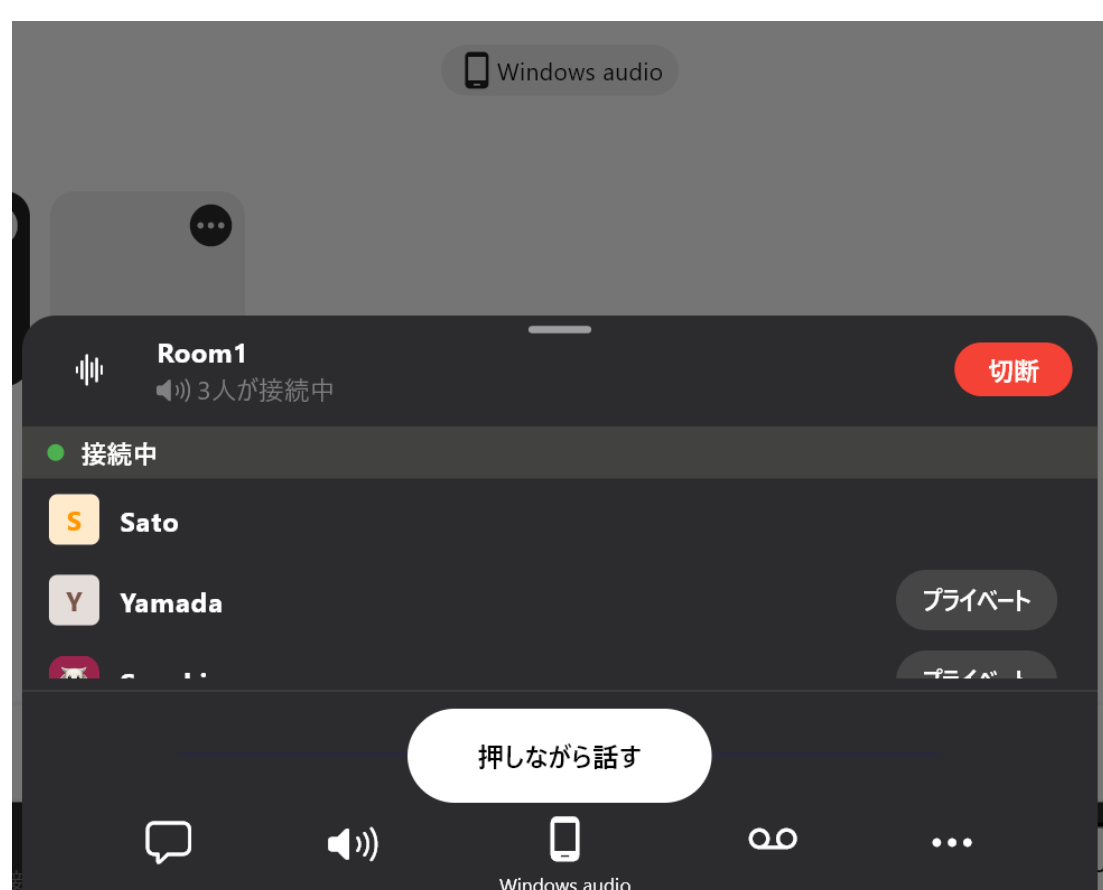
Notice

アプリをログアウトすると、初期状態にリセットされます。
再ログイン後は、再度設定を行ってください。
アプリアップデート時には、ログアウトしていなければ設定が引き継がれます。

⑧ プライベートトークの使い方

1. プライベートトークの使い方

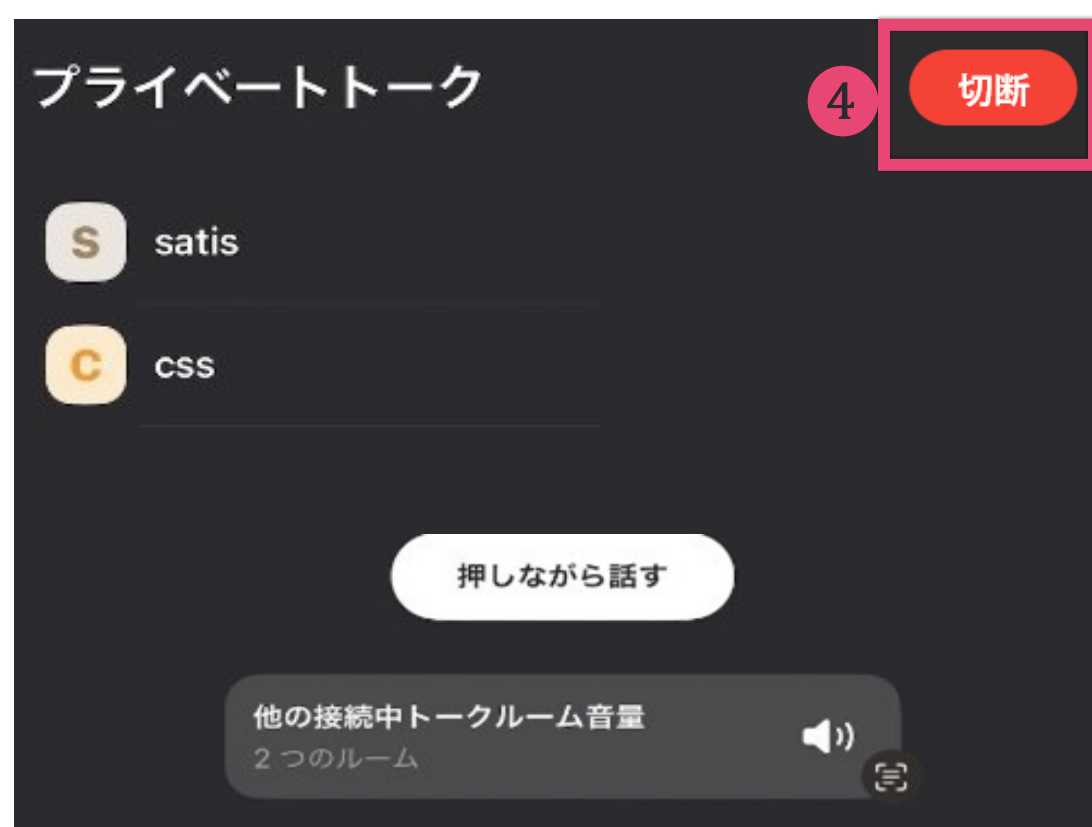
プライベートトークとは、接続しているルーム内の特定の人とのみ会話を行うことができる機能です。接続しているルームのトーク操作パネルを立ち上げ、[プライベート]を押します。話したい相手を選び、トークを開始してください。



- 1 トーク操作パネルを開き、[プライベート]を選択します。
※複数人、選択可能です



- 2 話したい相手にチェックを入れ、[プライベートトークを開始]を押します。
※別でプライベートトーク中の方は選べません。



- 3 プライベートトークが開始され、特定の人とのみ会話ができます。
※途中追加はできません
- 4 [切断]を押すと、プライベートトークは終了し、元のルームに戻ります。

Tips

別でプライベートトーク中、ネットワークが不安定な場合は、下記のようなメッセージが表示され、プライベートトークを選択することができません



Notice

- 呼び出された側は急に通話が始まります。事前にトークルーム内で伝えておくことをお勧めします
- プライベートトーク中はルーム内の録音がONでも、プライベートトークは録音されません。

⑨ 録音機能の使い方

1. アプリ操作：録音の開始／停止

録音したいルームに接続します。開始・停止操作は、ルーム詳細画面もしくは、トーク操作パネルから行うことができます。録音ボタンは、**管理者権限もしくはマネージャー権限**がないと表示されませんのでご注意ください。録音は、開始した人がルームから切断しても、継続されます。

なお、録音データの確認・ダウンロード方法は、管理画面からの操作になりますので、ヘルプセンターの[録音機能について](#) 2.録音データの確認・ダウンロード方法をご覧ください

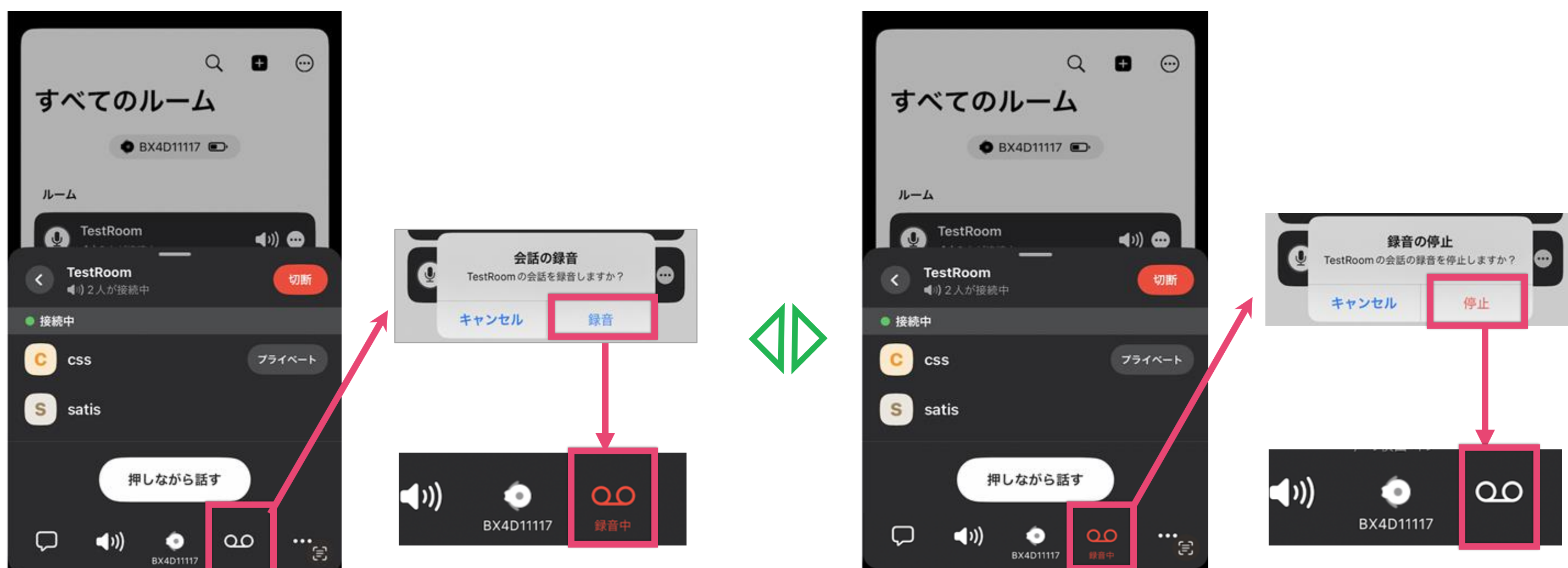
ルーム詳細から開始・停止する



ルーム詳細[⋮]から「録音を開始」をクリックするとポップアップが表示されます。「録音」を選択すると、録音が始まります。

停止する時は、再びルーム詳細を開きます。「録音を停止」をクリックし、ポップアップの「停止」を選択すると録音が止まります

トーク操作パネルから開始・停止する



トーク操作パネル画面の録音アイコンをクリックし、ポップアップの「録音」を選択すると、録音が始まります。録音中は、録音アイコンが赤に反転し「録音中」と表示されます。

停止する時は、再び録音アイコンをクリックし、「停止」を選択すると録音が止まります。録音アイコンも白に戻ります。

10 文字起こし機能について

1. 文字起こし機能・Speech to Textとは

BONX WORKアプリを通して行なった会話を自動的にテキスト化する機能です。

文字起こしを上手に使うコツ

認識率を上げるために、お使いいただく際は以下の点に心がけてお話しください。

- ・短文で話す
- ・なるべくはっきりと発音する
- ・ゆっくりと話す

また、Speech to Textには以下のような特徴があります。

- ・句読点等は強制的に入力できません。（「マル」と言っても「。」は入力されません）
- ・押しながら話すボタンを押した状態で0.7秒間発話されず、その後再度発話された場合には、複数の発言に分かれます。※稀に他の音を拾ってしまった場合には、一つの発言となります。
- ・空白は半角スペース、句読点等の記号も半角として表示されます。
- ・日本語に英語が交じる場合、一般的な英語はカタカナになる傾向にあります。そうでない場合はアルファベットで出力されるケースが多いです。
例)「タイミング」「パスワード」はカタカナ、「success」はアルファベット
- ・固有名詞が入ると、単語の区切りが分からなくなるため、その言葉以降が正しく表示されないことがございます。
- ・発言が俗語と検知された場合に、伏せ字に変換されることがあります。

10 文字起こし機能について

2. アプリ操作

文字起こしのON/OFF

文字起こしをしたいルームのルーム詳細もしくは、トーク操作パネルから文字起こし画面に遷移し、文字起こしを開始/停止を行います。文字起こしボタンは、**管理者権限もしくはマネージャー権限**がないと表示されませんのでご注意ください。

文字起こし画面の表示方法

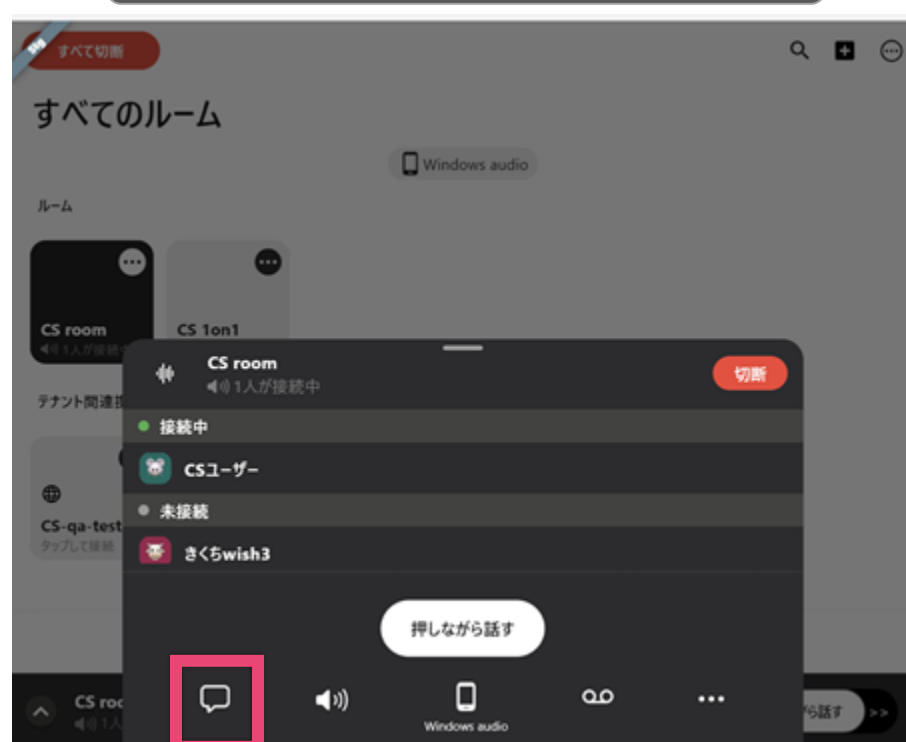
ルーム詳細から遷移する



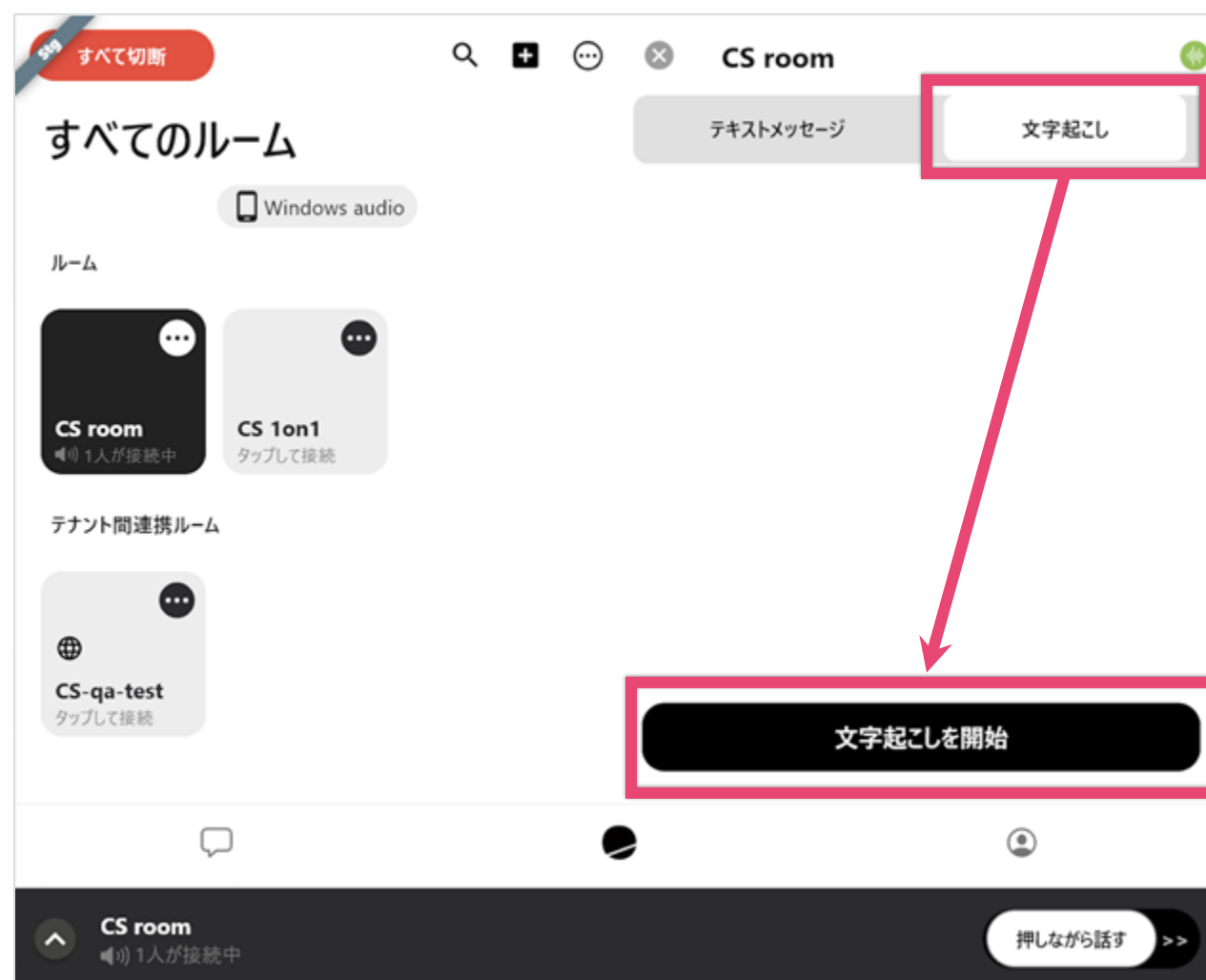
ルーム詳細[...]
から、
[文字起こし] をクリック

or

トーク操作パネルから遷移する

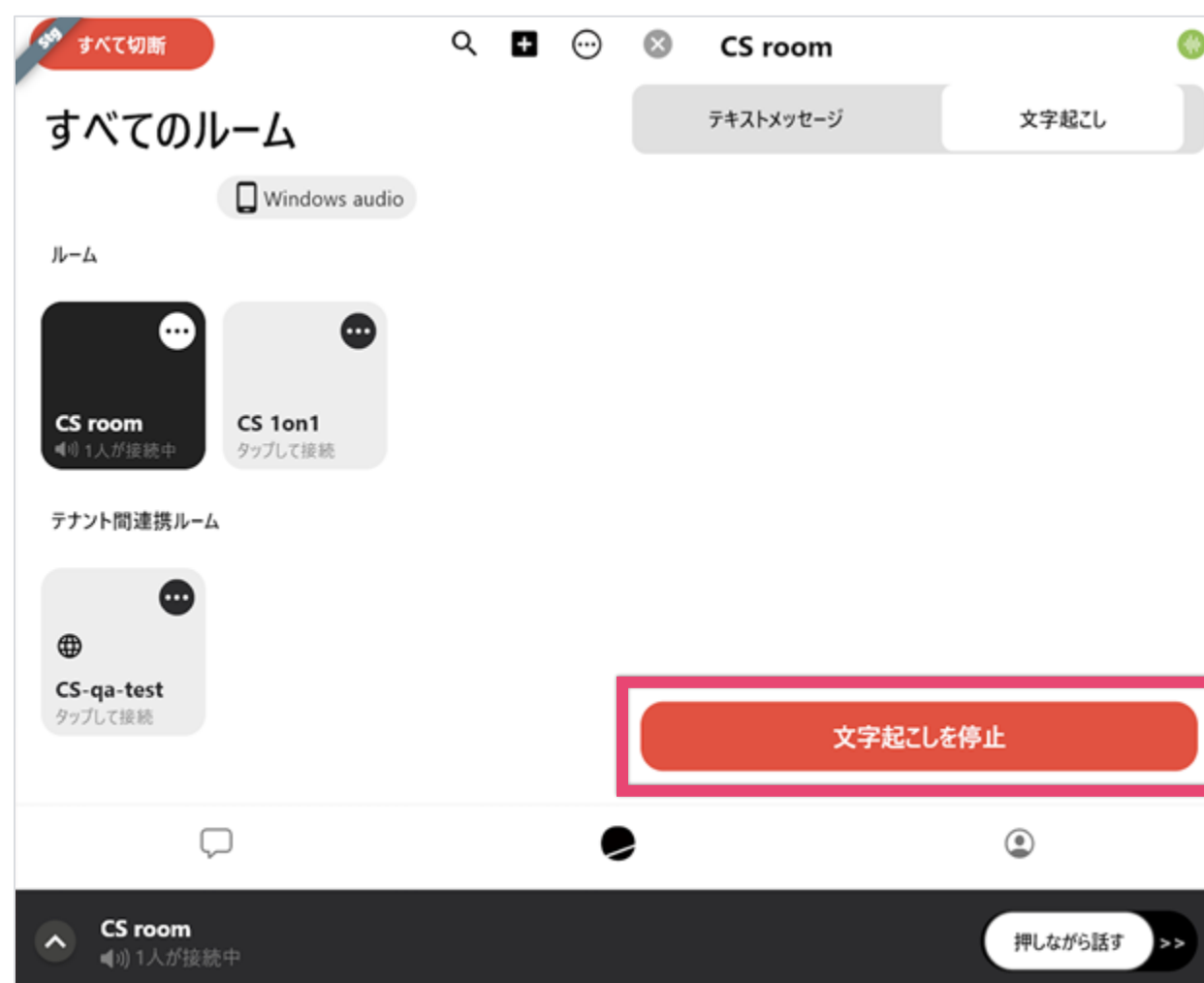


パネル下段の吹き出しアイコンを
クリック



【開始時】

文字起こし画面下段のボタン [文字起こしを開始] を押します。
表示が [文字起こしを停止] に変わり、文字起こしがONになります。
ルーム内の会話が文字に起こされていきます



【停止時】

文字起こし画面下段のボタン [文字起こしを停止] を押します。
表示が [文字起こしを開始] に戻り、文字起こしがOFFになります

Tips

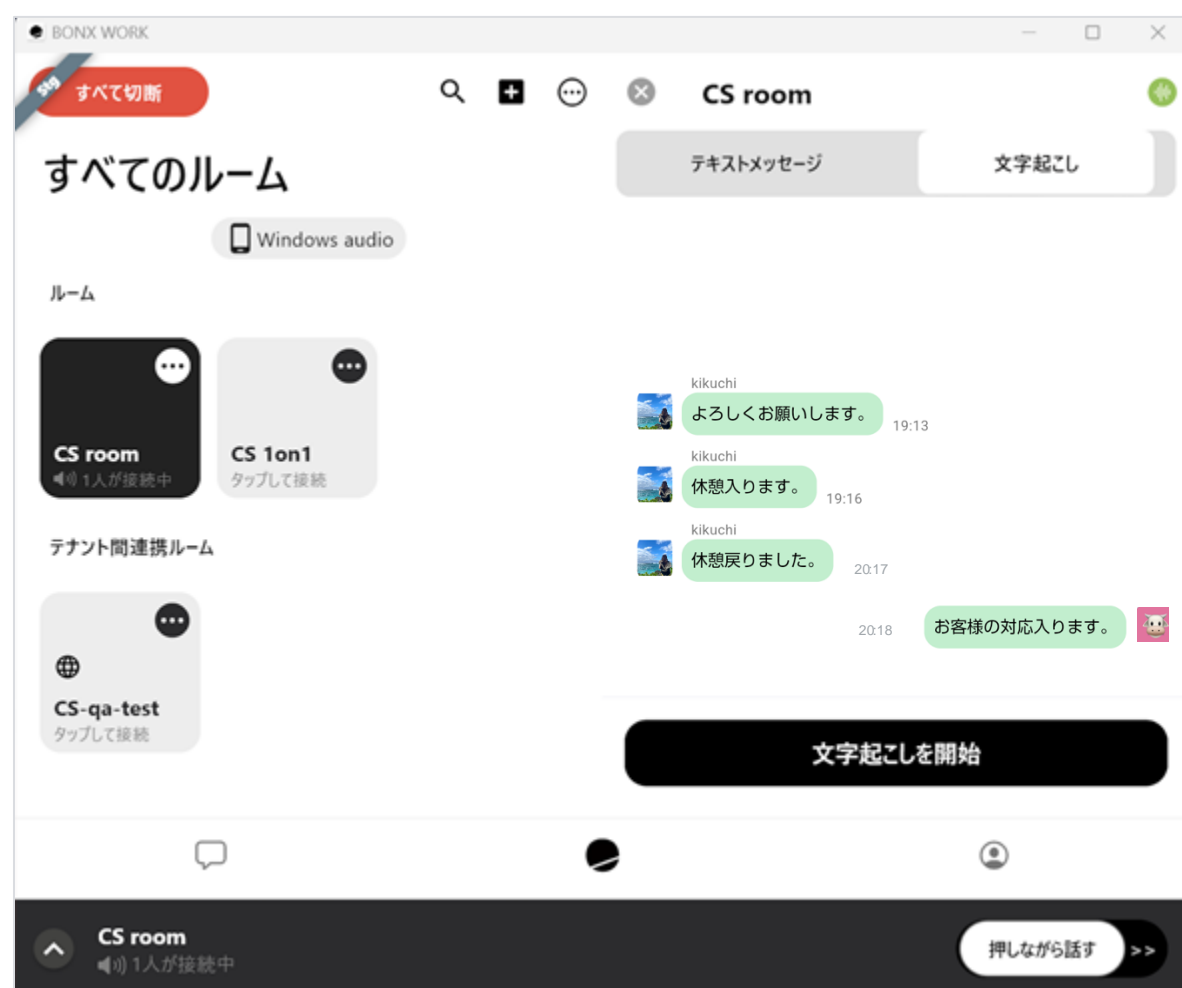
- [文字起こしを開始] をタップしたあと、ボタンの表示が変わるまで数秒お待ち下さい
- [文字起こしを停止] をタップしたあと、すぐに再度ONにしようとしてもうまく開始できないことがあります。5秒ほど待ってから再度、お試しください。
- 文字起こしのON/OFF操作がうまくできない場合、一度トークルームから切断し、再度入り直して下さい。
- 文字起こしは長時間ONにせず、必要なときにONにしてご利用ください。※長時間ONのままだと稀に停止する可能性があります。

10 文字起こし機能について

2. アプリ操作

文字起こし結果の表示・編集・ダウンロード

ルームを開き、[文字起こし] タブに移動すると文字起こし結果が参照できます。文字起こし結果は自動で更新されますが、手動で更新したい時には、右上の矢印マークを押してください。文字起こしデータの編集やダウンロード方法は、管理画面からの操作になりますので、ヘルプセンターの[文字起こし機能 \(Speech to Text\) の使い方](#)内【管理コンソールの操作】以降をご覧ください



- 古い会話が上に、新しい会話が下に表示されます。
- 上下にスクロールすることで、古い会話や新しい会話を見ることができます。
- 最新の会話が最大500件まで表示されます。
※表示順は古いものが上になります
- 全て表示する場合は、管理コンソールよりCSVダウンロードをご利用ください。

※文字起こし結果の音声再生はできません

文字起こし画面の表示数

PC版アプリケーションでは、すべてのルーム画面の他に、チャット/文字起こし画面を最大3つまでアプリ画面に並べて表示することが可能です。画面を消したいときは [x] アイコンより1つずつ消すことが可能です。

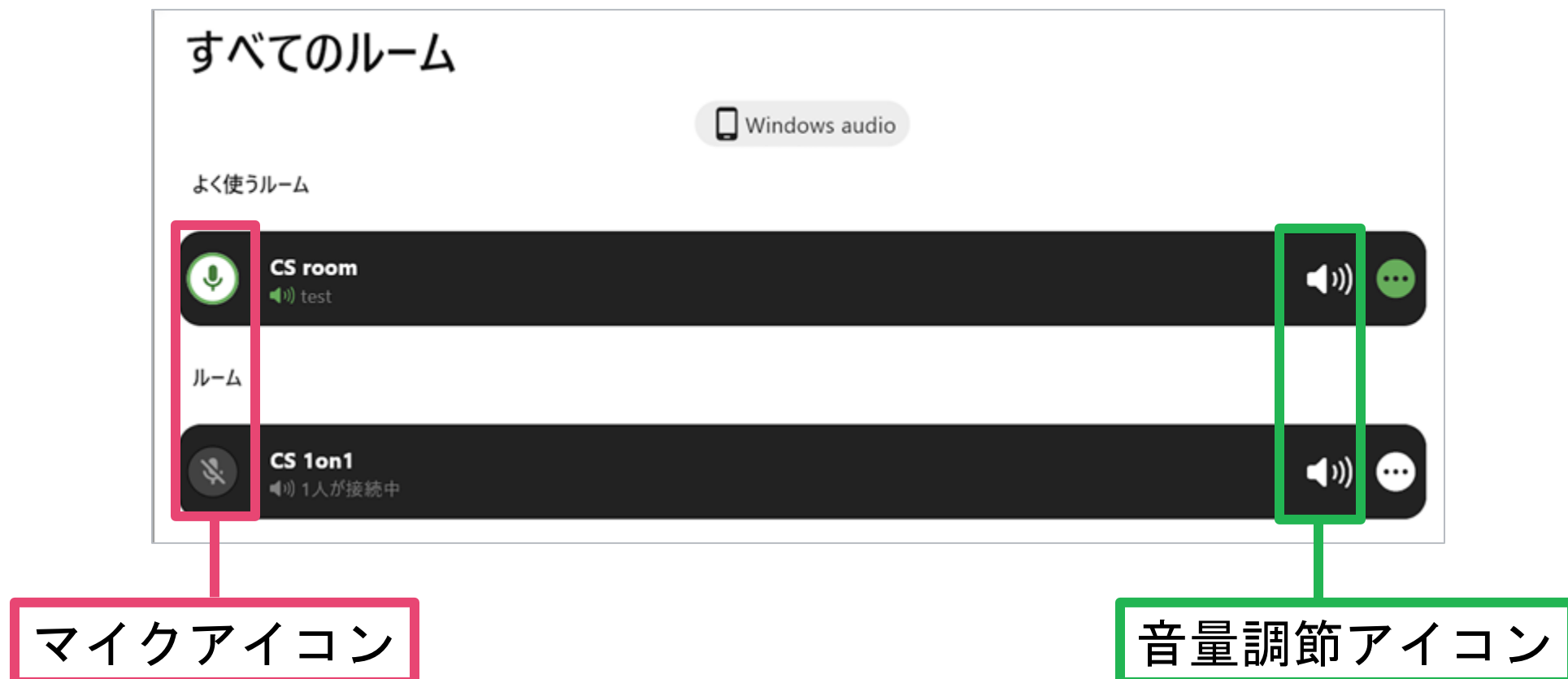


11 ユニットトーク機能について

1. 使い方 – マイクアイコンのON/OFF

ユニットトークとは、最大7つのルームに同時接続して会話ができる機能です。マイクアイコンのステータスを切り替えて、自身が発言したいルームを選ぶことができます。また、ルームごとの聞こえてくる音量を調節することも可能です。

※リスト表示をおすすめします

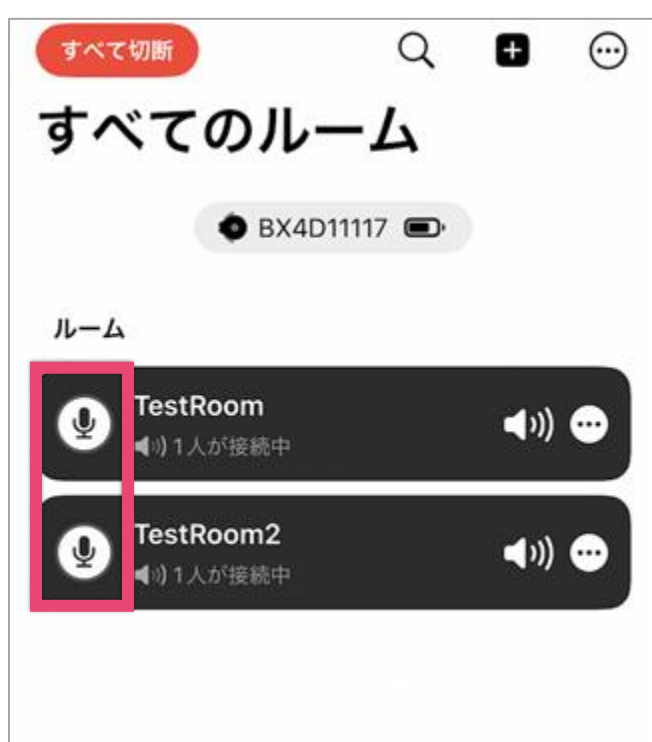


ルームのマイクON/OFF

2つ以上の複数のルームに接続すると、ルームのアイコン横にマイクアイコンが表示されます。マイクアイコンをクリックし、ステータスを変更することで発言するルームを切り替えることが可能です。下図はマイクステータス別の発言例です。

	ルームのマイクがONの状態です。
	ルームのマイクがOFFの状態です。

例①：接続中の全ルームがON



両ルームに発言ができます
※ルーム接続時の初期状態

例②：接続中の一部ルームをOFF



TestRoomには発言ができ、
TestRoom2はマイクOFFのため
発言できない状態です

例③：接続中の全ルームをOFF



両ルームに発言ができない
状態です

11 ユニットトーク機能について


2. 使い方 – 音量調節アイコン

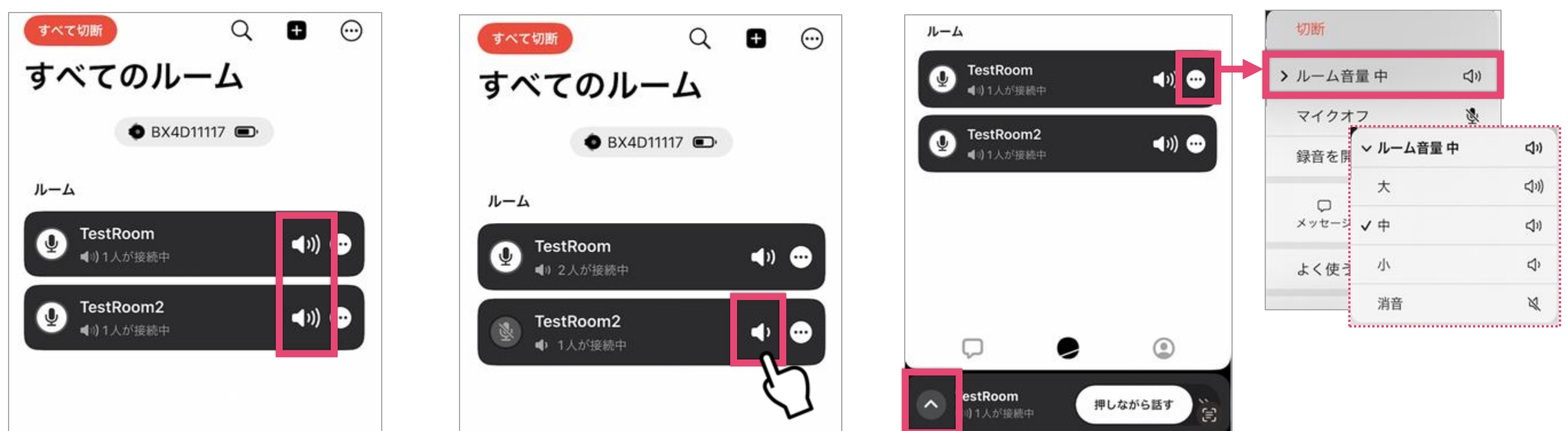
ルーム音量の調整

接続中のルームの音量を調節することができます。特定のルームだけを主に聞いておきたいときに活用いただけます。

※リスト表示にすることでルームアイコン上に音量調節ボタンが表示されます

※グリッド表示の場合、ルーム詳細もしくはトーク操作パネルから調節してください

	ルーム音量を調節するボタンです。0(消音)~3(大)の4段階調節ができます
---	---------------------------------------



① 全てのルーム音量が3(大)で聞こえる状態

② 音量ボタンをタップしてルーム毎に音量調節が可能

その他の画面操作について

- ① 発話中のルームは、マイクアイコンの枠とルーム詳細が緑に光ります。
- ② 接続中の全ルームを一斉切断したいときは左上の「すべて切断」を押します。
- ③ 画面下段の縮小表示されているトーク操作パネルからも操作が可能です。



矢印アイコンをタップすると、接続中のルームが表示されます。マイクステータス、音量調節、全ルームからの一斉切断が可能です

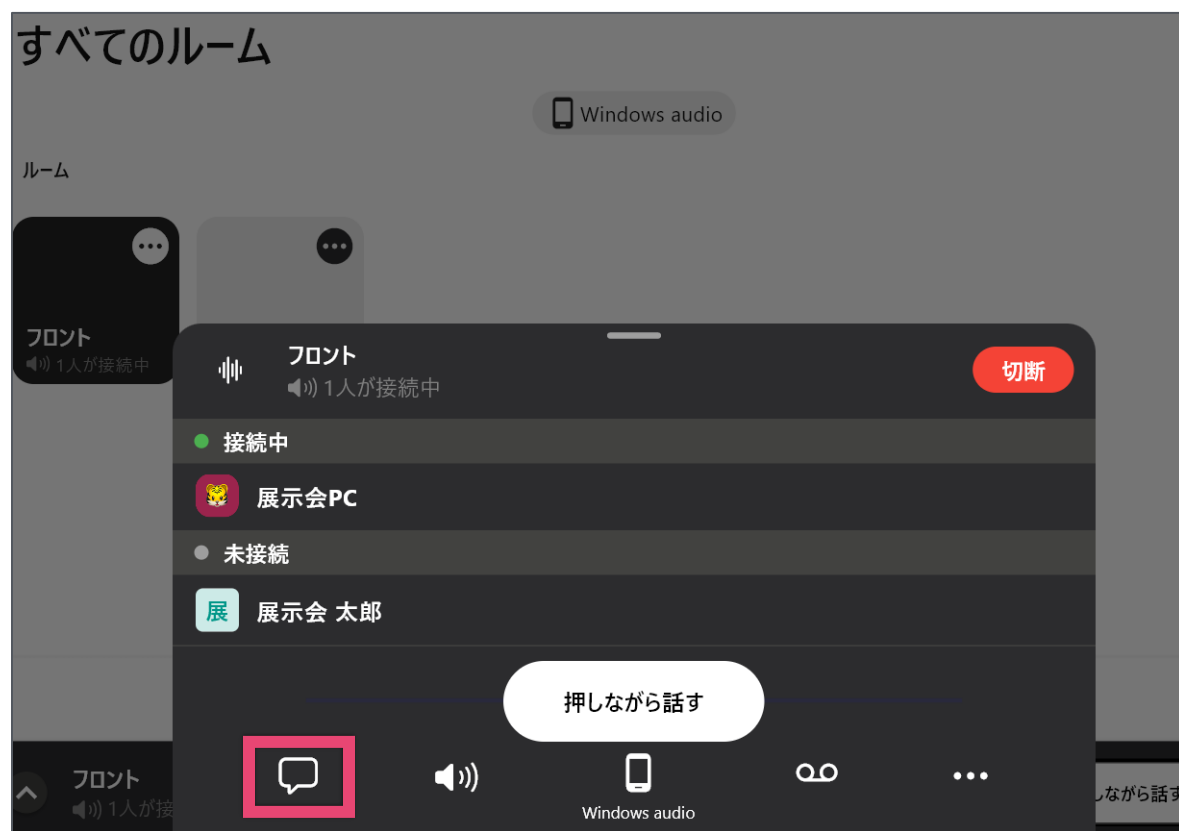
12 チャット機能について

1. 遷移方法

メッセージ画面への遷移方法

チャット機能は、ルーム内のメンバーとチャット形式でテキスト・画像・音声を送ることができる機能です。
トーク操作パネルやルーム詳細からメッセージ画面に移動し、テキスト等を送ります。遷移方法は以下3種類ございます。

トーク操作パネルから移動



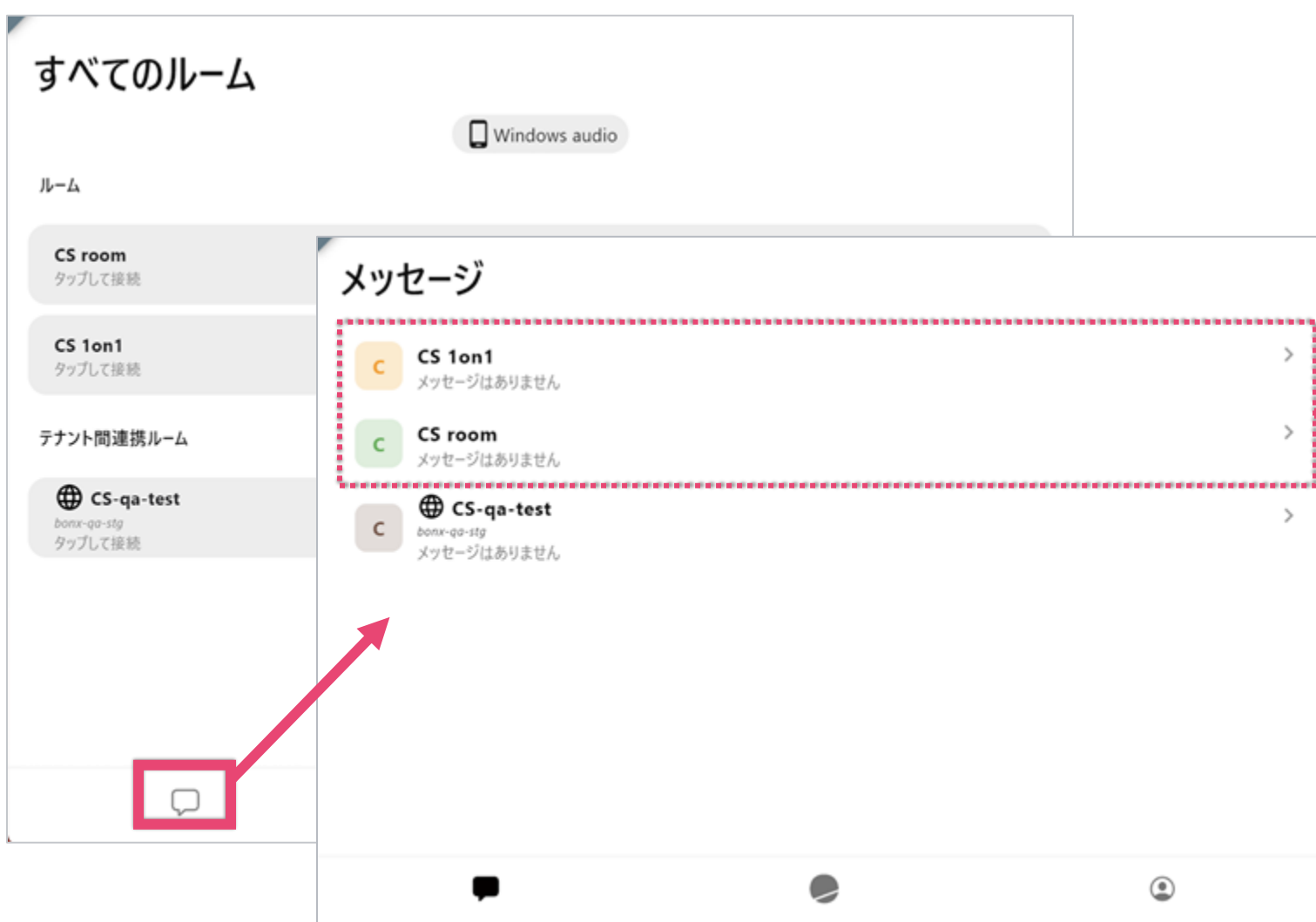
接続中のルームのトーク操作パネルの左端の吹き出しアイコンをタップします

ルーム詳細からの移動

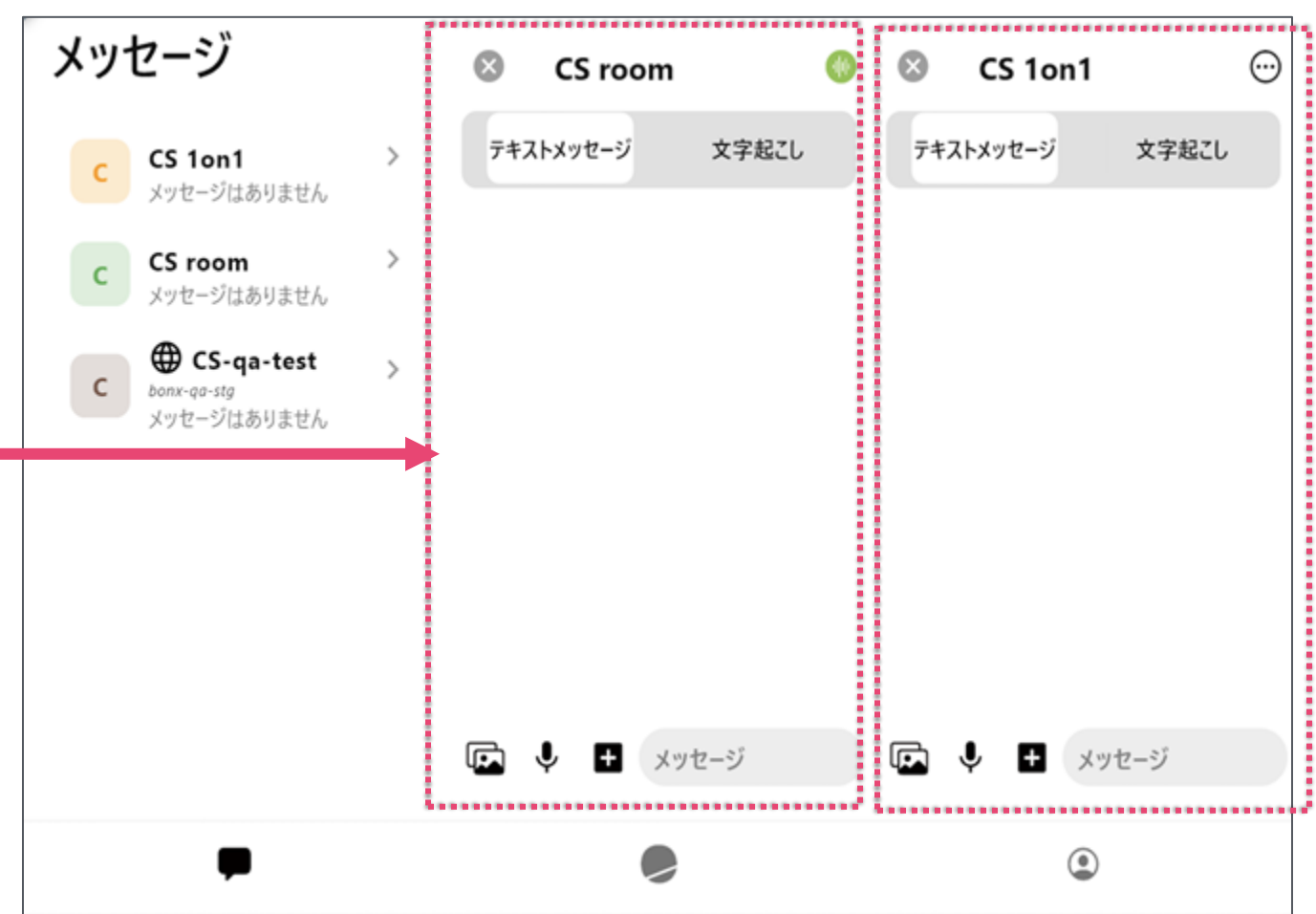


チャットを送りたいルームのルーム詳細から移動することも可能です

メッセージ一覧にワンタップ移動



すべてのルーム画面の吹き出しアイコンをタップすると、参加しているルームのメッセージ一覧画面に遷移します。
ルーム名をタップすると、各ルームのメッセージ画面に移動します

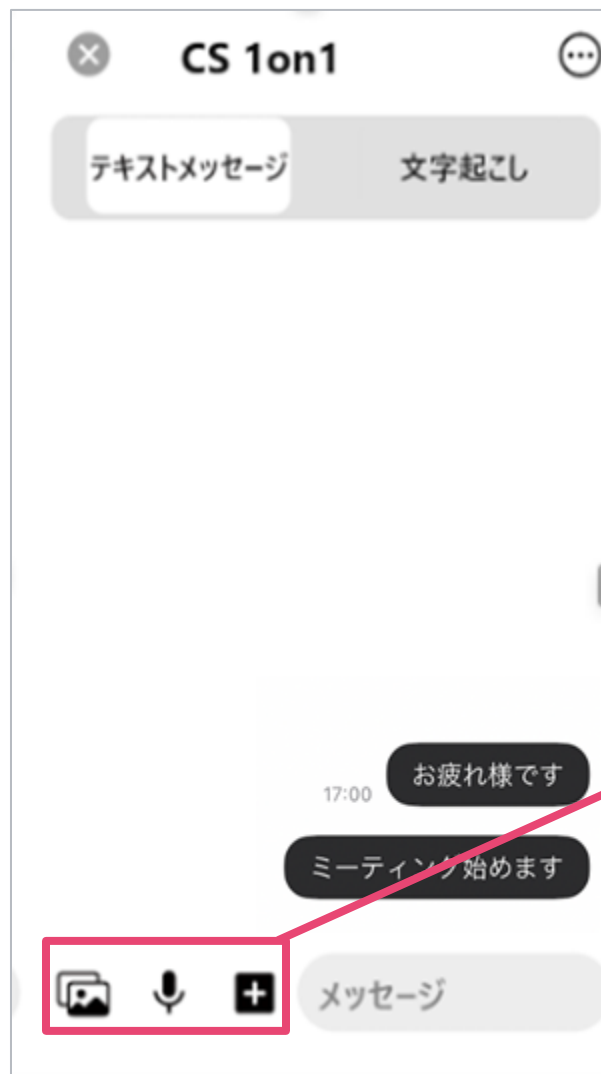





メッセージ画面が表示されます
最大3ルームまで同時画面表示が可能です

12 チャット機能について

2. 使い方 – 送信方法

各種アイコンの説明



	アルバムの画像を選んで送る時に使用します
	音声メッセージを送るときに使用します
	定型文を送るときに使用します

テキスト・画像・音声送信方法

※定型文の送信方法は次ページをご覧ください



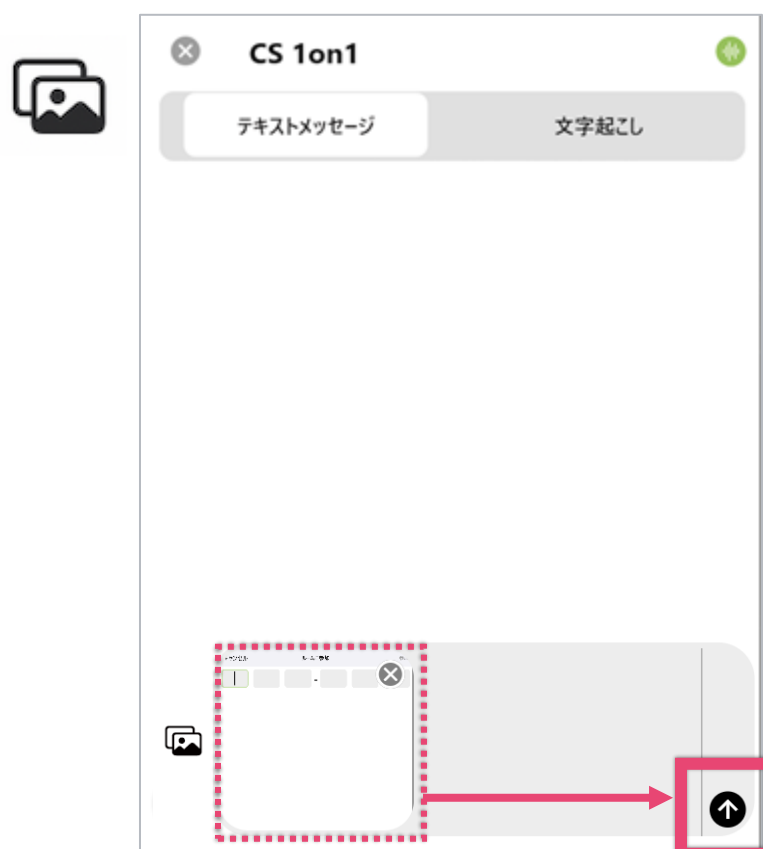
メッセージの入力フィールドで文章を打ち、[↑]から送信します



自分のメッセージは、黒の背景で表示されます

相手のメッセージは、グレーの背景で表示されます

テキストがチャット形式で表示されます



送信したい画像を選び、[↑]を押すと画像が送信されます



メッセージ横の[▶]から音声を再生します

[ごみ箱]を押すと音声録音が停止し、削除されます

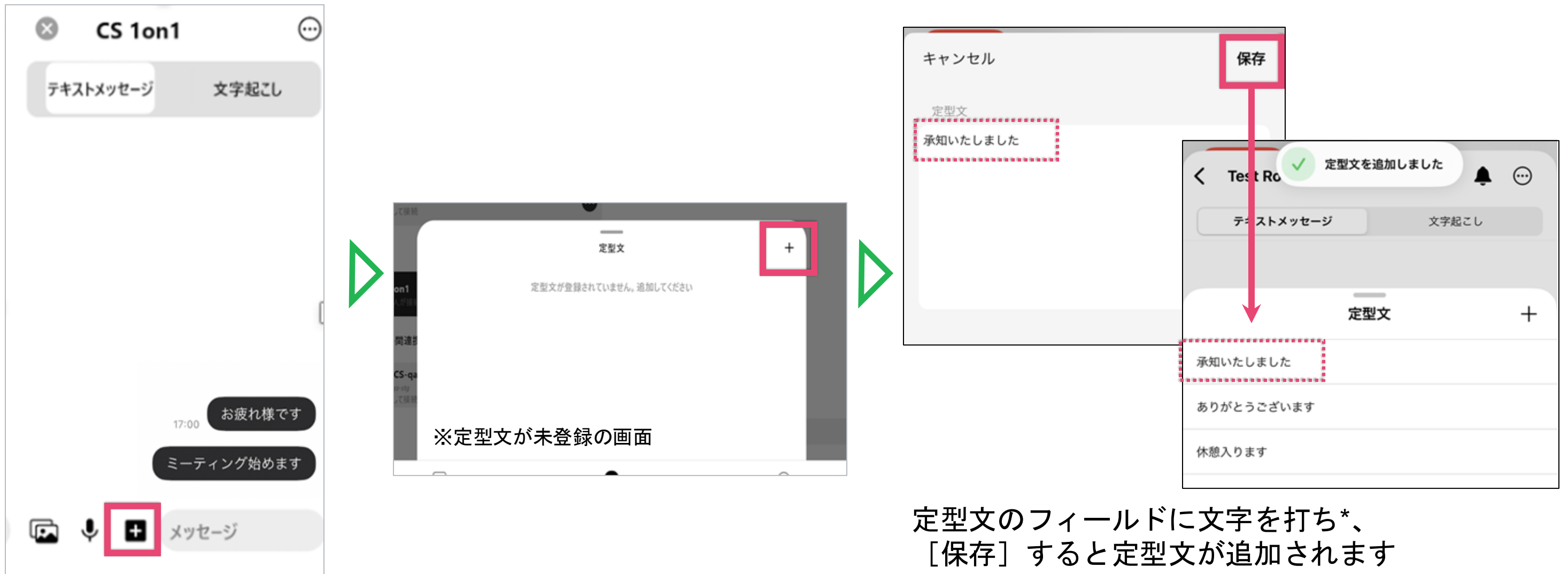
マイクアイコンから音声を録音し[↑]を押すと音声を送信されます

12 チャット機能について

3. 使い方 – 定型文

定型文の登録方法

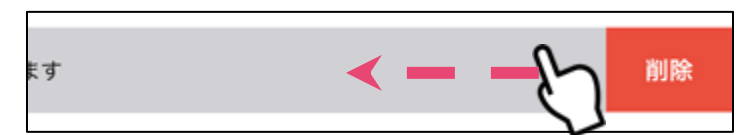
定型文を作成し、送ることができます。
予めよく使う文章を登録しておくことで、打つ時間を省き、伝えたいことを素早く伝えられる機能です。 ※最大5つまで定型文の登録をすることができます。



メッセージ画面内の [+] から
定型文の画面を表示します

[+] から定型文の登録に
進みます

定型文のフィールドに文字を打ち*、
[保存] すると定型文が追加されます
*2048byte(日本語の場合約1000文字)以上の登録はできません



定型文を削除する時は、左へスワイプします

定型文の送信方法



メッセージ画面内の [+] から
定型文の画面を表示します

送る定型文をクリックします

入力フィールド内に定型文が挿入されます

[↑] を押すと、そのまま送信されます
文章を編集してから送ることも可能です

12 チャット機能について

4. 使い方 – 編集・削除・コピー

自分が送った内容の編集や削除ができます。テキストは、文章の編集・削除・コピーを行います。画像は、削除・保存が可能です。音声は削除のみ可能です。



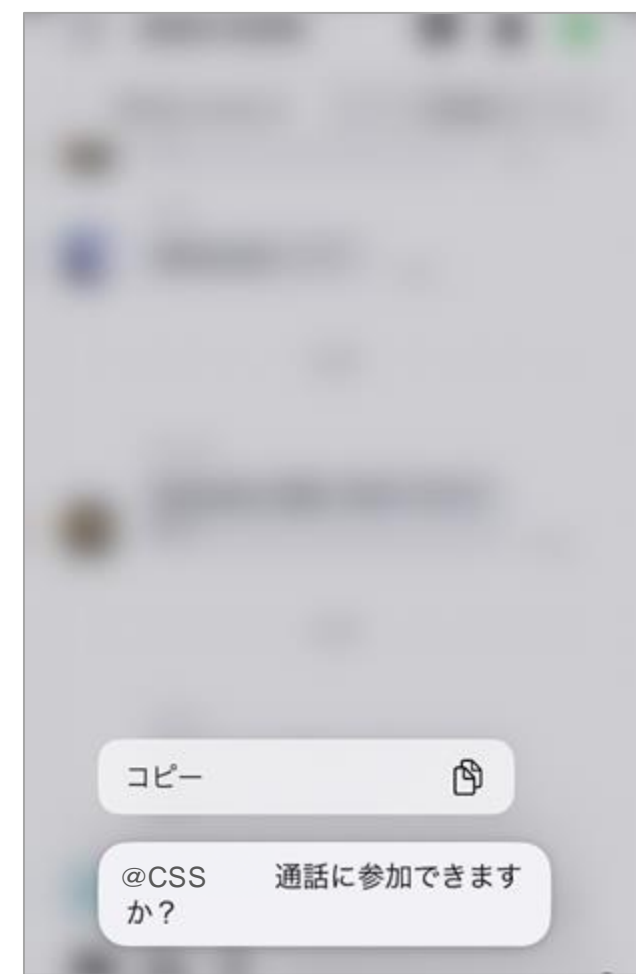
① テキストを長押しすると、編集・削除・コピーが表示されます



② テキストを編集します



③ 編集すると「編集済み」削除すると「メッセージを削除しました」が表示されます



④ 他人のテキストはコピーのみ可能です

13 ライブ配信機能について

1. 概要・注意事項

ライブ配信機能とは

配信者の映像をメンバー同士で確認しながら、通話ができる機能です。相互に映像を確認しながら業務を進めるシーンなどに、ぜひご活用ください。
プラン標準搭載のライブ配信とライブ配信+がございます。下記表を参照してください。
24年10月現在、期間限定でライブ配信+を無料付帯中です

	ライブ配信	ライブ配信+
1配信あたりの最大参加可能人数	15人	無制限
1配信あたりの最大連続通話時間	30分	無制限
同時配信可能数 ^{※1}	1つ	無制限 ^{※2}
過去配信の閲覧	×	○

※1 テナント内で同時にライブ配信を行える数

※2 同時に複数のライブ配信に参加することはできません（1ユーザー1配信）

※今後のアップデートにて上記内容に変更がかかる場合もございます

注意事項

- ・本機能は、ビジネスプランご契約のお客様のみの機能です
PC版アプリはライブ配信の参加・閲覧のみが可能です（配信側の操作は不可）
- ・ライブ配信を行うルームに未参加のメンバーと配信を行う場合は、事前に該当ルームへの参加が必要です
- ・ライブ配信中は、ライブ配信内での通話のみが可能です
別のトークルーム内での通話や他の画面への遷移は行えません
- ・ライブ配信途中に配信者がメンバーへ新たに配信招待を送ることはできませんが、参加者側はすべてのルーム画面上から途中参加が可能です

ライブ配信中に電話の着信があった場合

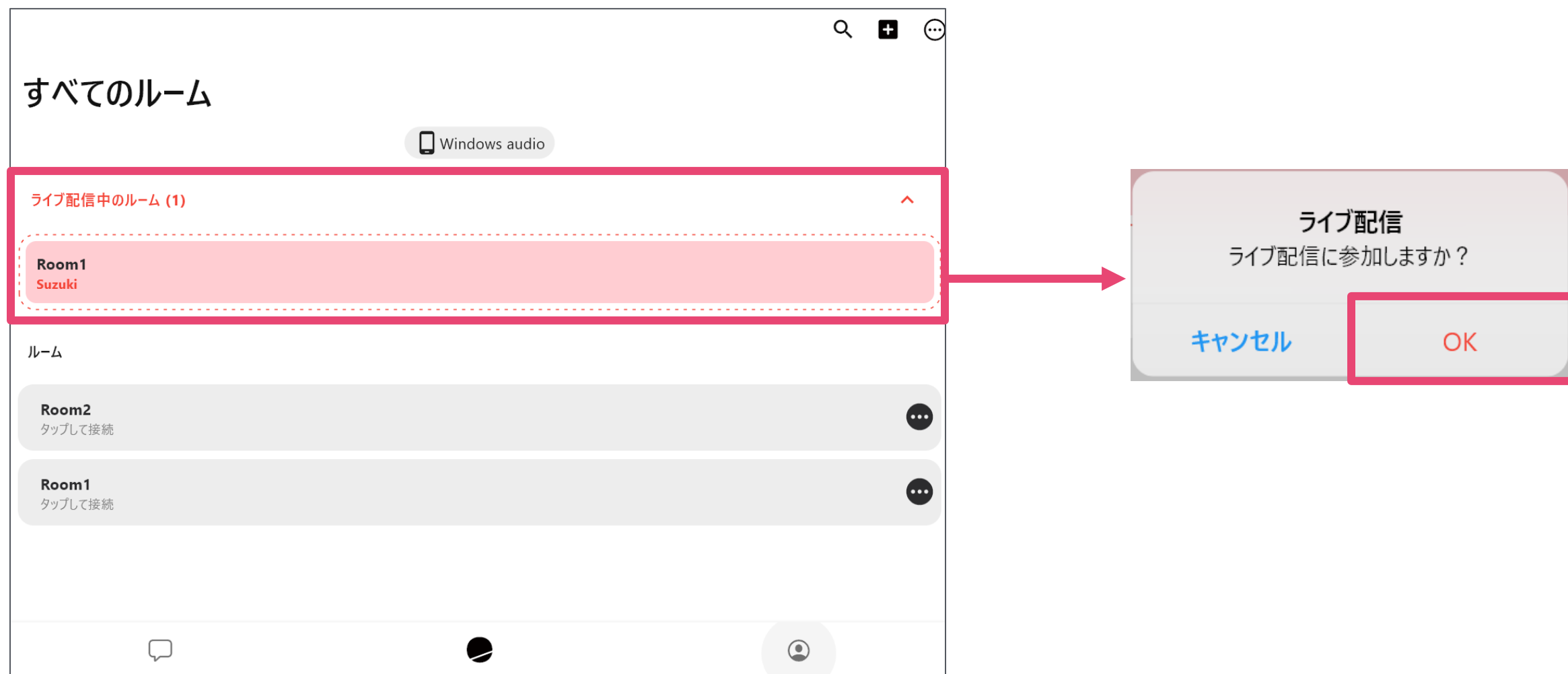
配信者に着信があった場合、受話の有無に関わらず、着信時点でライブ配信が終了します。参加していたメンバーは、元の接続中のルームに戻ります。
配信を再開したい場合は改めて配信の開始が必要です。

参加者に着信があった場合、受話の有無に関わらず、着信を受けた人のみがライブ配信から退出します。配信に再度参加したい場合は、すべてのルーム画面上から参加が可能です

13 ライブ配信機能について

2. ライブ配信参加方法

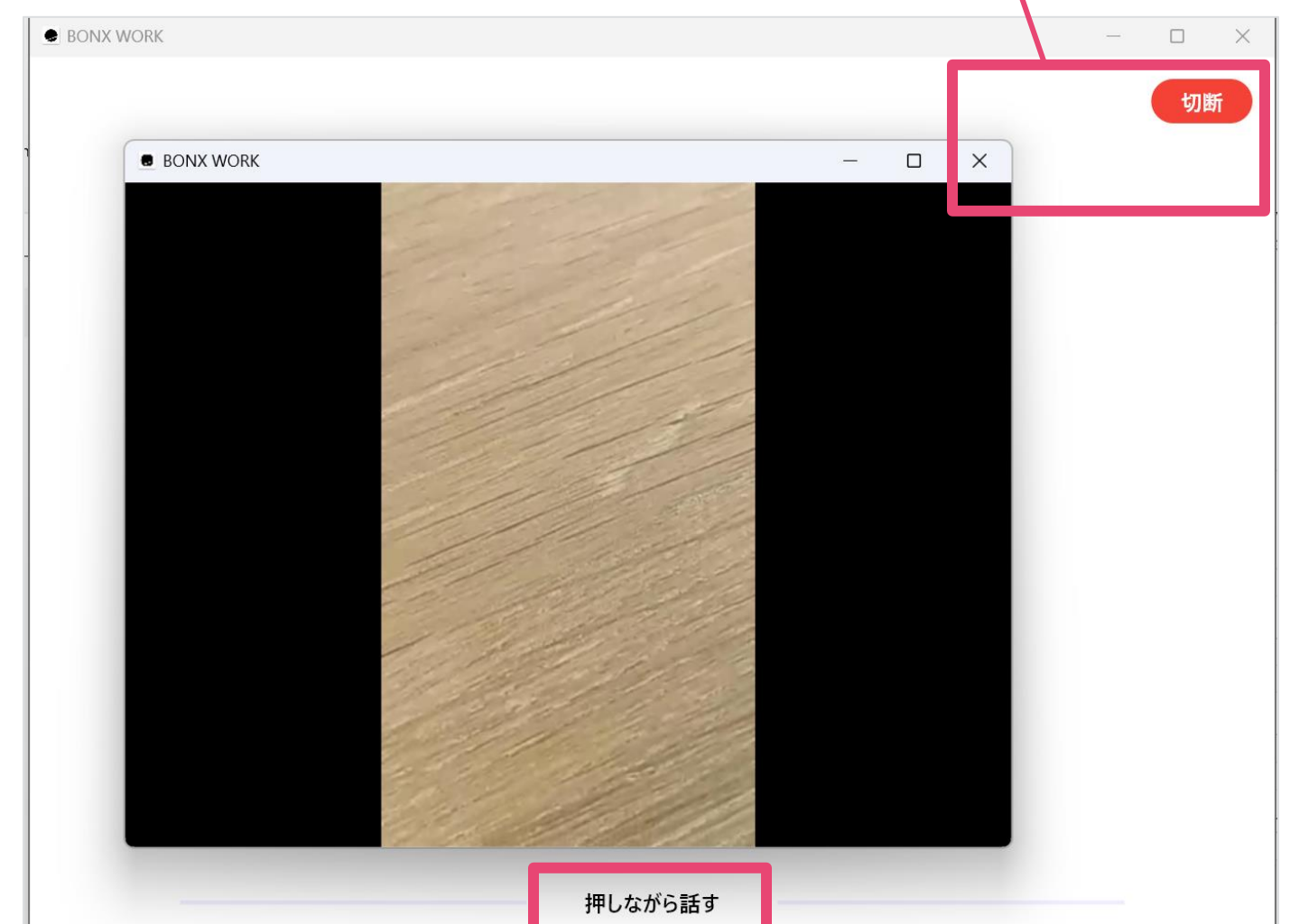
ライブ配信が開始されるとすべてのルーム上でライブ配信中のルーム表示がされます。また、配信に招待された場合は、ポップアップ通知が表示されますので、そこから配信に参加することができます。ライブ配信中は、ライブ配信を行なっているメンバー間での通話のみが可能です。ライブ参加中は、接続中の全トークルームから切断状態になります。ライブ配信終了後には、全トークルームに戻ります。



配信に招待された場合



配信から退出する時は右上の [切断] もしくは、配信画面の [x] を押しと元のルームに戻ります



配信に招待されるとアプリ画面にポップアップ通知が表示されます
[OK] を選ぶと配信画面が立ち上がります
※参加しない場合は、キャンセルを選びます

配信者の画面を見ながら、参加メンバー同士で通話が可能です
通話を行うときは [押しながら話す] ボタンから操作します

13 ライブ配信機能について

3. 過去配信の閲覧

閲覧手順

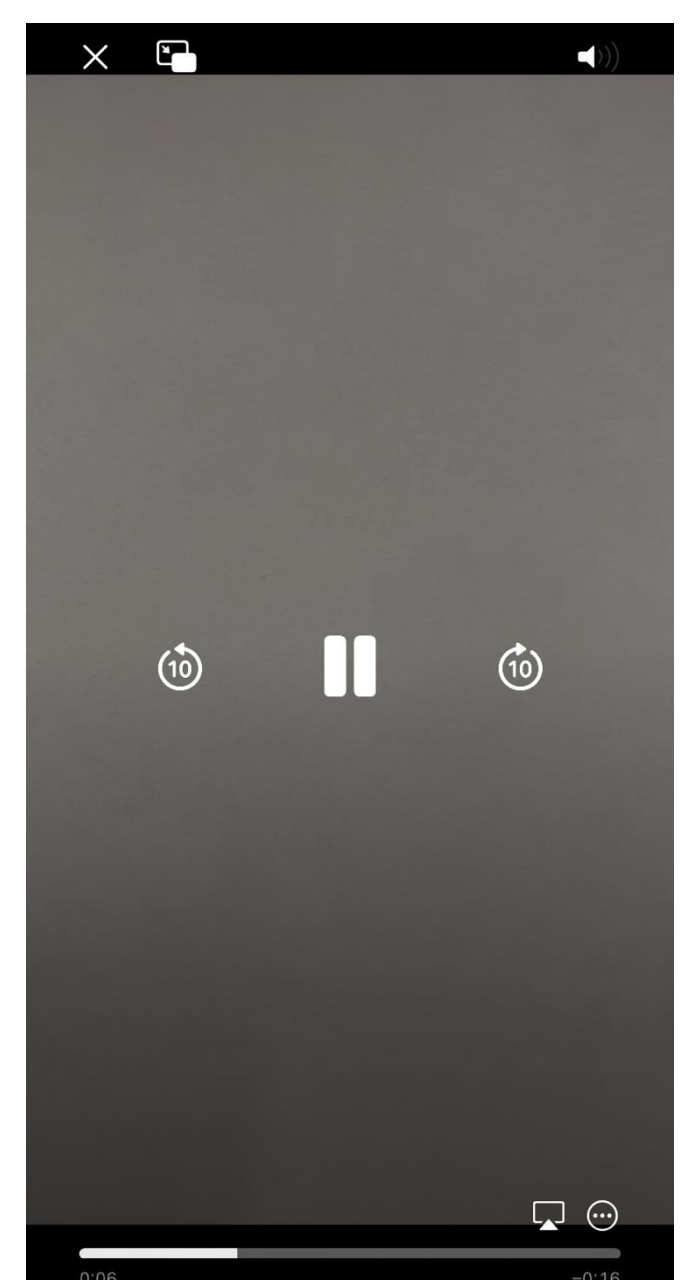
ライブ配信を行うと、自動的に録画・保存されます。
配信されたルームに参加している全メンバーが過去のライブ配信を閲覧することが可能です。
※録画ファイルは配信者のニックネーム名で保存されます
※録画のオン・オフ機能はございません



ルーム詳細から [ライブ配信]
をタップします



日時の新しい順に
過去のライブ配信が一覧表示されます
閲覧したい配信をクリックすると
再生画面に遷移します



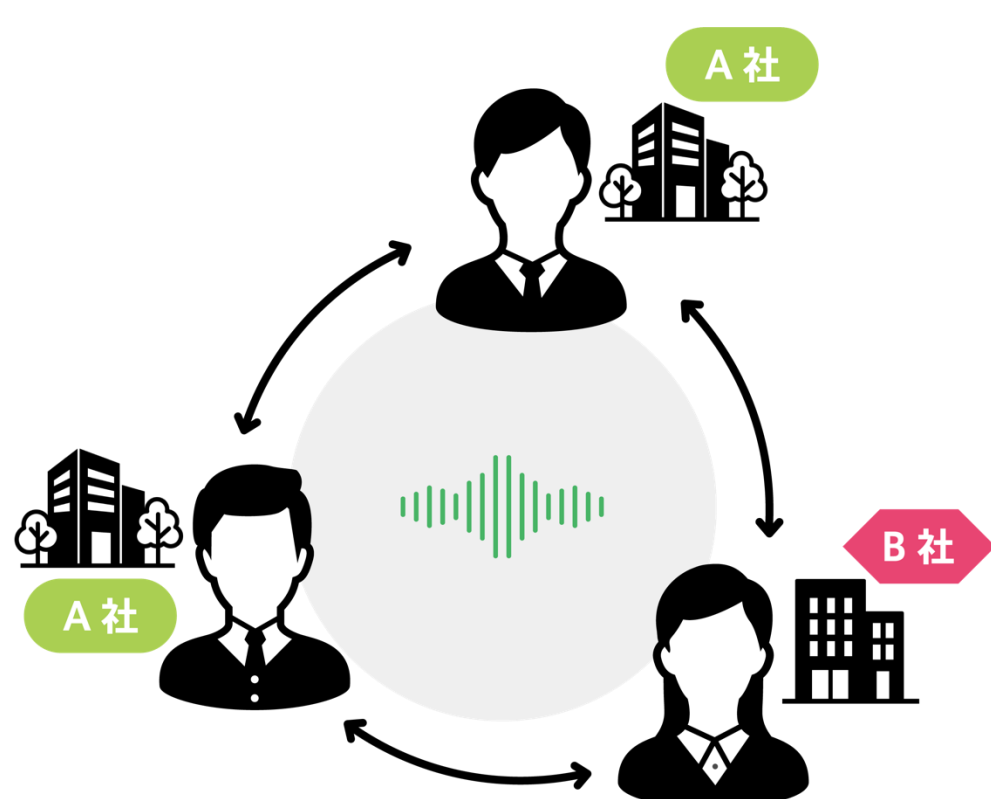
配信が自動で再生されます

1. 概要・注意事項

テナントまたぎ機能とは

本機能を利用すると、別のテナントのユーザーと同じルームで会話することが可能になります。異なる店舗や協力会社とテナントまたぎを設定することでコミュニケーションの幅が広がります。

テナントまたぎを行なっているルームは、すべてのルーム画面上で「テナント間連携ルーム」にルーム名が表示されるので、どのルームが別のテナントと繋がっているか一目でわかるようになっています。



(テナントまたぎ中のアプリ画面イメージ)

注意事項

- ・ 本機能はご契約後にBONX側での設定が必要になります
別途お申し込みが必要です。BONXサポートチームへお問い合わせください
- ・ 設定には最長10営業日いただいております
設定完了したのち、BONXよりご案内いたします
- ・ テナントまたぎには、ルーム招待側（ホスト）とルーム参加側（ゲスト）によって、
行える操作が異なります。詳細は、次ページ以降をご覧ください

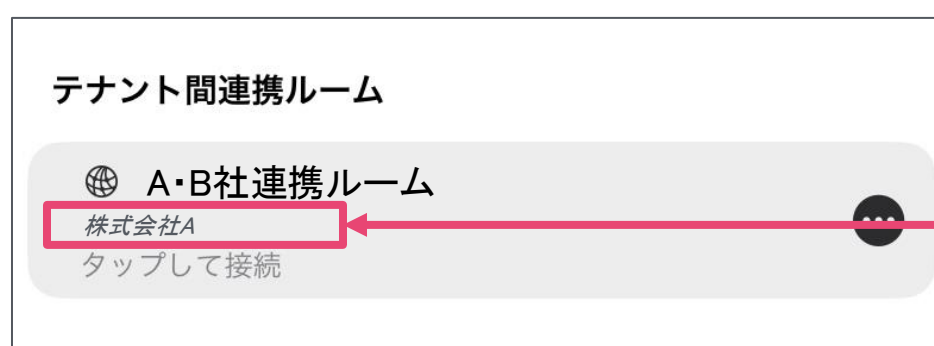
14 テナントまたぎ機能について

2. ホスト・ゲストについて

ホスト・ゲストの考え方

テナントまたぎには、ホストとゲストという考え方があり、行える操作が異なります（詳しくは次ページをご覧ください）
また、自分がどちらに該当するかは、ルームアイコン下のテナント名の表示の有無より判断いただけます。 ※ルームアイコンの表示形式は、リスト表示を推奨します

ホスト	・自テナントにて、該当ルームの作成/招待を行なうユーザー ・上記ユーザーと同テナントに所属しているユーザー
ゲスト	・該当ルームを作成したユーザーとは異なるテナントに所属しているユーザー



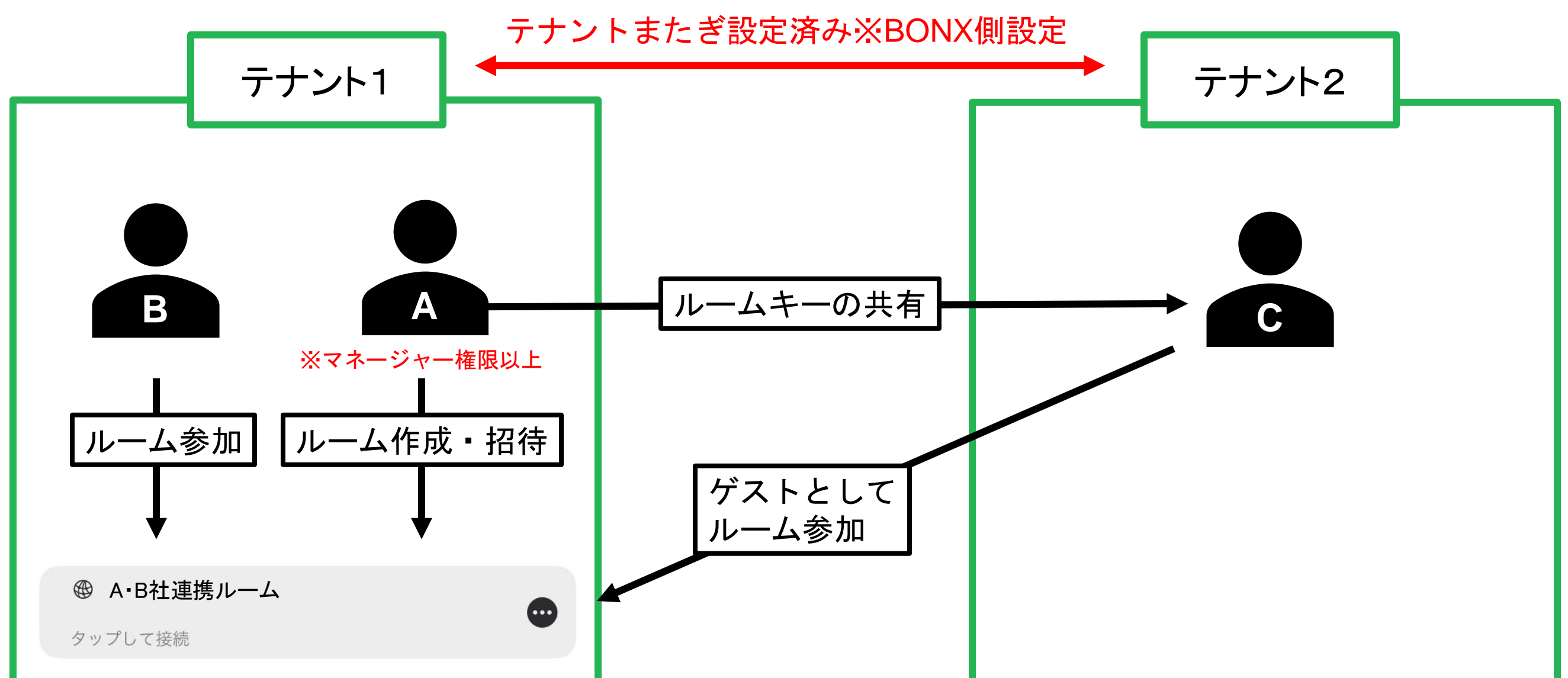
ゲストの場合、テナントまたぎをしているルームのアイコン上にホストのテナント名（会社名）が表示されます

(ゲスト側すべてのルーム画面)

テナントまたぎのイメージ

下図はテナント1側が連携するルームを用意し、テナント2のユーザーを招待する構図です。この場合、テナント1側にいるユーザーがホスト（Aさん、Bさん）。テナント2側からルーム参加したユーザーがゲスト（Cさん）になります。

逆にテナント2側で連携するルームを用意し、テナント1のユーザーを招待した場合は、テナント2側のユーザーがホスト、テナント1側からルーム参加したユーザーがゲストになります。



14 テナントまたぎ機能について

3. 操作可能範囲の違い

ルーム招待側（ホスト）とルーム参加側（ゲスト）によって、行える操作が異なります

	ホスト	ゲスト	補足
チャット	○	×	ホスト側：ホストユーザー同士でのチャットが可能 ゲスト側：利用不可
録音	○	×	ホスト側：操作権限あり、管理画面から録音データのDL可能 ゲスト側：操作権限なし ホスト側で該当ルームの録音を行った場合、ホスト・ゲストの音声問わず、ルーム内のすべての音声は録音データに含まれます。
文字起こし	○	×	ホスト側：操作・閲覧権限あり、管理画面からCSVデータDL可能 ゲスト側：操作権限なし ホスト側で文字起こしを開始した場合、ゲスト側の音声も文字起こしに反映され、文字起こし結果としてデータに含まれます。
プライベートトーク	○	○	操作方法はスタートアップガイドトーク編をご覧ください
ルーム名編集	○	×	ホスト側：編集可能 ゲスト側：編集不可
ライブ配信	△	△	双方のテナントがビジネスプラン（ライブ配信の契約）であれば、双方で配信可能です 片方のテナントのみライブ配信の契約をしている場合は、そのテナント側のユーザーのみで配信可能

※今後のアップデートにて上記内容に変更がかかる場合もございます

14 テナントまたぎ機能について

4. アプリ操作

ルーム招待・参加方法

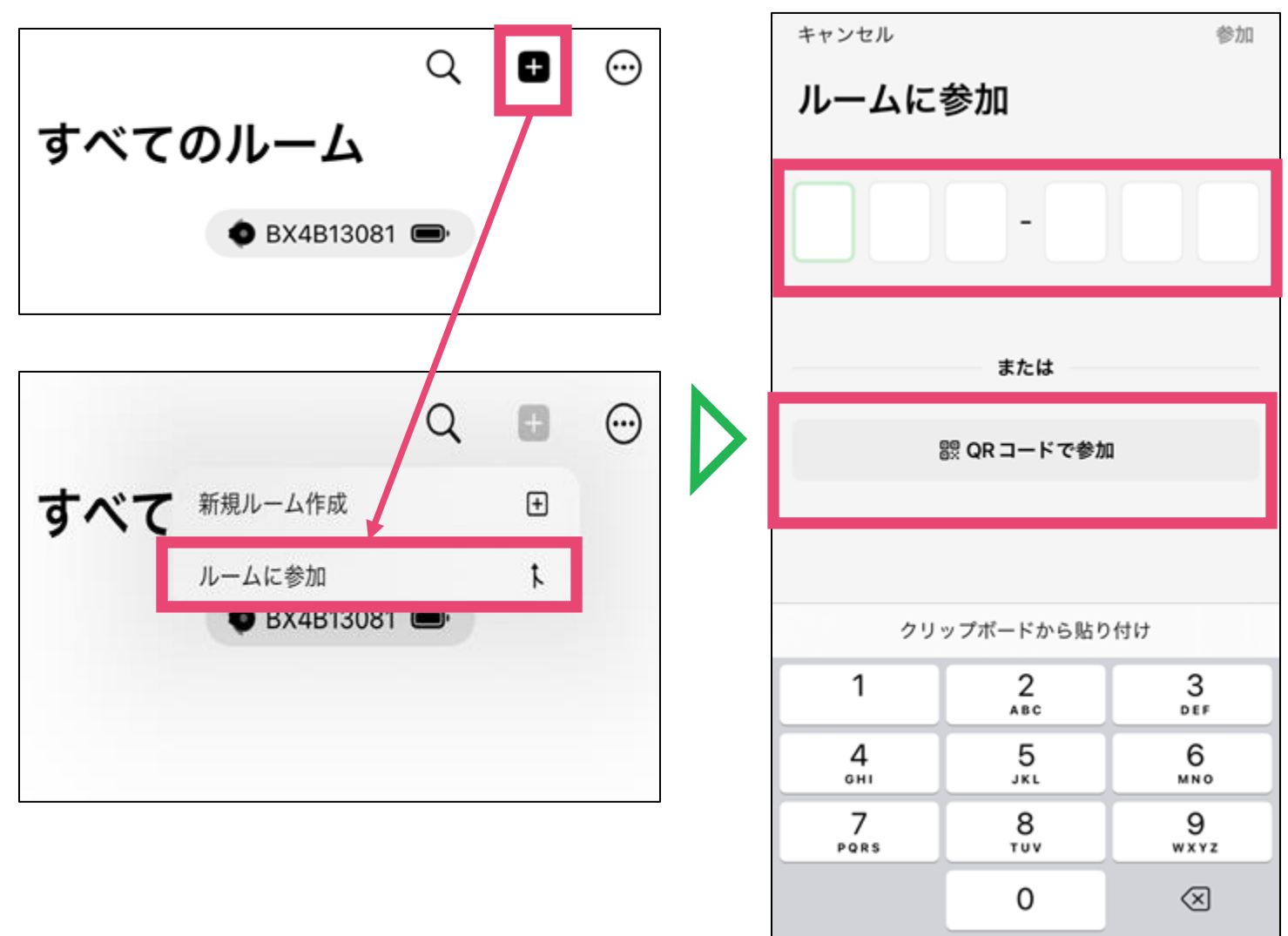
ホスト（招待する側）は、該当ルームの「ルームへ招待」からゲストにルームキー・QRコードを共有します。ゲストは「ルームに参加」から該当ルームへ参加を行います。
※招待時はルームキーもしくはQRコード招待を行なってください。

ホスト：ルーム招待側操作



招待したいルームのルーム詳細から「ルームへ招待」を開きます。メンバーリストには自テナントのメンバーのみ表示されるため、「招待コード」をクリックし、ルームキーもしくはQRコードをゲスト側に共有してください。

ゲスト：ルーム参加側操作



通常のルーム参加方法と同じく、「+」から「ルームに参加」をクリックし、ホスト側から共有されるルームキーの入力もしくはQRコードの読み取りを行います。
※PC版アプリでは、QRコードの読み取りは行えません。

参加後のトークルームについて

テナントまたぎのルームに参加すると、すべてのルーム画面上では「テナント間連携ルーム」にルームアイコンが表示されます。また、トーク操作パネルを開くと、自身とは異なるテナントに所属しているメンバーの横には、🌐アイコンが表示されますのでメンバーを識別する際の参考にしてください。



テナントまたぎをしているルーム名の横にアイコンが表示されます。ゲストの場合、ルーム名の下にホストのテナント名（会社名）が表示されます。

自テナントではないユーザーの横にアイコンが表示されます。